

官報

號外

明治三十二年十二月十五日

金曜日

印刷局

○第十四回 衆議院議事速記録第八號

明治三十二年十二月十四日(木曜日)午後一時十二分開議

議事日程 第七號 明治三十二年十二月十四日
午後一時開議

- 第一 下水法案(政府提出)
第一讀會ノ續(委員長報告)
第一讀會ノ續(委員長報告)
- 第二 汚物掃除法案(政府提出)
第一讀會
- 第三 明治三十三年度豫算案
第一讀會
- 第四 鐵道船舶郵便法案(政府提出)
第一讀會
- 第五 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉
第一讀會
- 第六 民法第七十九條及第八十一條ノ規定ニ依ル遺言ノ確認ニ關スル法律案(政府提出)
第一讀會
- 第七 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉
第一讀會
- 第八 稅關假置場法案(政府提出)
第一讀會
- 第九 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉
第一讀會

○議長(片岡健吉君) 是ヨリ諸般ノ報告ヲ致シマス

(書記朗讀)

特別委員長及理事左ノ通當選セラレタリ

礦業條例中改正法律案

委員長 堀田 連太郎君

幼者喫煙禁止法案

委員長 內田 雄藏君

營業稅法中改正法律案

委員長 加藤 六藏君

官吏恩給法中改正法律案外二案

委員長 安部 井磐根君

特別委員左ノ通當選セラレタリ

治水ニ關スル建議案外一案

林 彦一君

佐々木 正藏君

江角 千代次郎君

門司開港區域擴張及海峽航通ニ關スル建議案

栗原 亮一君

鈴木儀左衛門君

小栗 貞雄君

重野 謙次郎君

福田 久松君

片野 篤二君

根 本 正君

平岡 浩太郎君

宮原 幸三郎君

征矢野 半彌君

高岡 忠郷君

板東 勘五郎君

藤 金 作君

菊池 九郎君

村瀬 庫次君

學制改革調查會設置ニ關スル建議案

安藤 龜太郎君

工藤 行幹君

石原 半右衛門君

政府ヨリ提出セラレタル議案左ノ如シ

明治三十三年度各特別會計歲入歲出豫算案中修正

飲食物其他ノ物品取締ニ關スル法律案

議員ヨリ提出セラレタル議案左ノ如シ

外國商工業練習並視察ニ關スル建議案

木村誓太郎君ヨリ兌換銀行券條例及經濟上ニ關スル條件ニ付質問書ヲ提出セラレタリ

兌換銀行券條例及經濟上ニ關スル質問書

兌換銀行券條例及經濟上ニ關スル質問書

兌換銀行券條例及經濟上ニ關スル質問書

兌換銀行券條例及經濟上ニ關スル質問書

兌換銀行券條例及經濟上ニ關スル質問書

兌換銀行券條例及經濟上ニ關スル質問書

兌換銀行券條例及經濟上ニ關スル質問書

兌換銀行券條例及經濟上ニ關スル質問書

兌換銀行券條例及經濟上ニ關スル質問書

兌換銀行券條例及經濟上ニ關スル質問書

兌換銀行券條例及經濟上ニ關スル質問書

兌換銀行券條例及經濟上ニ關スル質問書

兌換銀行券條例及經濟上ニ關スル質問書

兌換銀行券條例及經濟上ニ關スル質問書

兌換銀行券條例及經濟上ニ關スル質問書

兌換銀行券條例及經濟上ニ關スル質問書

兌換銀行券條例及經濟上ニ關スル質問書

兌換銀行券條例及經濟上ニ關スル質問書

兌換銀行券條例及經濟上ニ關スル質問書

兌換銀行券條例及經濟上ニ關スル質問書

兌換銀行券條例及經濟上ニ關スル質問書

兌換銀行券條例及經濟上ニ關スル質問書

兌換銀行券條例及經濟上ニ關スル質問書

兌換銀行券條例及經濟上ニ關スル質問書

兌換銀行券條例及經濟上ニ關スル質問書

兌換銀行券條例及經濟上ニ關スル質問書

兌換銀行券條例及經濟上ニ關スル質問書

兌換銀行券條例及經濟上ニ關スル質問書

兌換銀行券條例及經濟上ニ關スル質問書

兌換銀行券條例及經濟上ニ關スル質問書

兌換銀行券條例及經濟上ニ關スル質問書

兌換銀行券條例及經濟上ニ關スル質問書

兌換銀行券條例及經濟上ニ關スル質問書

兌換銀行券條例及經濟上ニ關スル質問書

兌換銀行券條例及經濟上ニ關スル質問書

兌換銀行券條例及經濟上ニ關スル質問書

理由書

明治三十二年法律第五十五號ヲ以テ兌換銀行券條例第二條中ニ改正ヲ加ヘ其保證準備發行制限八千五百萬圓ヲ壹億貳千萬圓ニ擴張シタルハ其目的他ニアラス即チ明治二十三年以來經濟上ノ進歩領土ノ擴張及ヒ貨幣法ノ改正等ニ依リ舊法ノ制限内ニ於テハ到底金融市場ヲ整理スルニ足ラサルコト該案提出ノ際政府委員ノ說明シタルカ如クナリ然ラハ即チ右擴張高參千五百萬圓ハ經濟界ノ需用ニ應ジテ金融市場ヲ整理シ必要アレハ之ヲ發行シ必要ナケレハ即チ之ヲ發行スヘカラサルモノナルニ日本銀行ハ同法律ノ實施後經濟界ノ必要ナキ場合即チ金融緩慢ノ際ニ當リ縱マニ之ヲ發行シテ他ノ目的ニ供用シタルノ形跡アリ我政府力壹千萬圓ノ公債ヲ募集スルニ當リ日本銀行ヲ殆ント其發行餘力ヲ空盡シテ同公債貳百萬圓ヲ引受タルカ如キハ明カニ右法律第五十五號制定ノ目的ニ違反スルモノト云フヘシ之カ爲メ日本銀行ハ昨今兌換銀行券條例ノ範圍内ニ於テ金融市場ヲ整理スル能ハス僅カニ國庫金ノ運用ヲ得テ經濟界ノ需用ニ應スルノ有様ナリト云フ今ヤ我經濟界ノ順況ニ向ヒタルコト果シテ大藏大臣ノ衆議院ニ於ケル演説ノ如クナラハ日本銀行力去年六月二十七日突然金利ヲ引上ケ經濟界ヲ不安ナラシメタルハ全ク同行力本年六月十七日頃金融緩慢ノ際ニ當リテ發行餘力ヲ濫用シタルノ結果ト云ハサルヘカラス是レ本員ガ本質問ヲ提出シ大藏大臣ノ明答ヲ煩ハサント欲スル所以ナリ

○議長(片岡健吉君) 是ヨリ會議ヲ開キマス、諸君ニ御諮リスルコトガゴザイマスガ、山本實三郎君ガ病氣ノタメ昨十三日ヨリ二週間ノ請暇ヲ申出ラレマシタガ、是ハ許シマシテ御異議ハゴザイマセヌカ

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○議長(片岡健吉君) 御異議ガナケレバ許スコトニ致シマス——木村誓太郎君

○内田雄藏君(四十二番) 唯今ヨリ幼者喫煙法案ニ附キマシテ、委員會ヲ開キタウゴザリマス

○議長(片岡健吉君) 何ノ法案デ

○内田雄藏君(四十二番) 幼者喫煙法案デアリマス

○議長(片岡健吉君) 今四十二番カラ幼者喫煙禁止法案ノ委員會ヲ開キタイト云フコトデアリマスガ、許シテ御異議ゴザイマセヌカ

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○議長(片岡健吉君) 御異議ガナケレバ、許スコトニ致シマス

(木村誓太郎君演壇ニ登ル)

○木村誓太郎君(百二十九番) 私ハ兌換銀行條例及財政上ニ關スル質問ヲ政府ニ提出シ致シマシテゴザイマス、私ハ常ニ質問演説ノ極テ簡單ナルコトヲ望ム者デアリマスカラ、自身モ極簡單ニ述ベル積デゴザイマス、デ私ノ質問ノ要旨ハ三點デゴザイマス、其一ツハ日本銀行ガ保證準備金ニ依テ發行スル所ノ兌換券ノ制限ハ、明治二十三年以來八千五百萬圓デアリマシタ、然ルニ本年三月法律第五十五號ヲ以テ一千二百萬圓ニ改メラレ、即チ三千五百萬圓ト云フモノハ増發スルコトヲ許サレタデゴザイマス、其増發ヲ許サレタ目的ト云フモノハ、追々ニ世ノ進歩ニ伴ウテ、是マデノ八千五百萬圓ハ經濟上ノ需要ニ應ズルコトガ出來ナイカラシテ、經濟上ノ必要ニ應ジ得ラル、ダケニ、即チ一億二千萬圓トシテ、三千五百萬圓ヲ増サレタト云フ、其目的ハ法案提出ノ當時、政府委員ノ說明ニ依ツテモ明ナルコトデゴザイマス、然ルニ此法案ノ——法律ノ發布以後間モナク日本銀行ハ經濟上ノ必要ト云フ場合デモナク、殊ニ金融緩慢ノ場合ニ向ツテ之ヲ發行シ、此三千五百萬圓ノ大部分ト云フモノハ、此目的以外ノ事ニ使用シ盡シタルデゴザイマス、之ガタメニ却テ今日ノ如キ經濟上ノ要用ノ場合ニハ、兌換銀行條例ノ範圍内ニ於テ其需要ニ應ズルコトガ出來ナクテ、僅ニ國庫金ノ運用ヲ得テ、而シテ今日ノ經濟上ノ需要ニ應ジテ居ルト云フヤウナ有様デゴザリマス、デ是デモ政府ハ此法律第五十五號ノ制定ノ目的ヲ達シ得ルモノ、即チ其目的ニ適フモノデアルト云フコトヲ認メラレモナラカス、是レ質問ノ一ツデゴザイマス、デ次ニ本年八月政府ハ倫敦ニ於テ、一千萬圓ノ公債ヲ募集スルニ當ツテ、日本銀行ハ前ニ申述ベマシタル所ノ、經濟市場ノ必要ニ應ジテ救済スベキ所ノ、此保證準備發行ノ増加額ヲ以テ、此公債ノ内ニ二百萬圓ト云フ、即チ凡ソ二千萬圓ト云フモノヲ引受ケタルデゴザイマス、此行爲ト云フモノハ確ニ此法律制定當時ノ目的ニ違反スルト云フコトハ明ナルコトデゴザイマス、然ルニ政府ハ之ヲ默許シテ答メズ、之ヲ默許シテ居ルノハ如何ナル理由デアラルカト云フノガ、質問第一デゴザイマス、モウ一ツニハ去年十一月二十五日大藏大臣ハ本院ニ於テ、今ヤ財政經濟ニ二共ニ順境ニ向ヒツ、アルト云フコトヲ明言セラレタノデゴザイマス、然ルニ僅ニ其二日ヲ隔テ、十一月二十七日ニ至テ、日本銀行ハ突然金利ヲ引上ケテ、經濟市場ニ不安ノ念ヲ起サシメタト云フコトハ事實デゴザリマス、大藏大臣ハ經濟上今日ハ順境ニ向ヒツ、アルト云フコトヲ認メナガラ、此日本銀行ガ利子引上ト云フコトハ、正當ナル處置デアルト云フコトヲ認メラル、デアラウカ、私ガ質問スルハ此三點デゴザリマス、此三點ニ就キマシテハ驚クハ、親切ナル答辯アラント希望スル者デゴザリマス

○議長(片岡健吉君) 議事日程ノ第一下水法案、第一讀會ノ續、委員長ノ報告——瀧口歸一君

第一 下水法案(政府提出)

第一讀會ノ續(委員長報告)

(瀧口歸一君演壇ニ登ル)

○瀧口歸一君(二百七十七番) 下水法竝ニ汚物掃除法ノ兩案ヲ特別委員ニ付スルコトニナリマシテ、此去ヌル一日ニ委員長理事ノ選舉ヲ致シマシテ、其委員長ニ不肖、理事ニ利光鶴松君ガ選舉ニナリマシテ、ソレカラ數回會議ヲ開キマシテ、其結果ヲ御報告致シマス、此第一條「本法ニ於テ下水ト稱スルハ土地ノ清潔ヲ保持スル爲メ命令ノ云々」トゴザリマス、此下水ト云フ所ニ「道」ノ一字ヲ加ヘマシタ、又此「爲」ト云フ字ノ下ニ「命令ノ定ムル所」ト云フ十七字ヲ削リマシテ、「汚水雨水疏通ノ目的ヲ以テ云々」ト云フ二十七文字ヲ加ヘマシタ、第二項「本法ニ於テ築造ト稱スルハ新築改築増築云々」トゴザイマス、此増築ノ下「及大修繕」ト云フ四字ヲ削リマシテ「新築改築及増築ヲ包含ス」ト、斯ウ云フコトニ修正ヲ致シマシタ、此第一條ノ修正ノ其要ハ「命令ノ定ムル所」ト云フ文字ノゴザイマスルノハ、漠トシテ此一般法文ニ依ツテ、

直ニ解釋ヲスルコトガ難イト云フ所ヨリ、是ヲハツキリ分ルヤウニ斯ノ如ク「汚水雨水疏通ノ目的ヲ以テ云々」ト云フコトニ變リマシタ、マケデゴザイマス、第二項ノ増築ノ下「及大修繕」ト云フ四字ヲ削リマシタモノハ、是ハ大修繕トアツテハ其大小ノ區別ハ、ドコヲ以テ大修繕ト認ムルカ否ヤト云フコトニ至ツテハ、殆ド判明シ難イコトニナリマスカラ、是ハ茲デ「及大修繕」ト云フコトヲ削リマシテ、次ノ條項ニ之ヲハツキリ分ルヤウニ致シマスル都合デ、茲ニハ之ヲ削リマシタ譯デ、第二條ニ「市ニ於テ下水ヲ築造セムトスルトキハ云々」ト云フ所ロニ「道」ノ字ノ入リマシタノハ、是亦一條ノ「道」ノ字ノ入リマシタト同ジ意味デ、ハツキリ下水道ト云フコトノ分リマスルヤウニ此「道」ノ字ヲ加ヘマシタ譯デ、サウシテ此但書ヲ加ヘマシタノハ、但命令ヲ以テ定ムル種類ノ増築又ハ改築工事ニ關シテハ此限ニアラス、此本文ノ如ク致シマスレバ、事大小トナク皆内務大臣ノ認可ヲ受ケナケレバナラヌト云フ譯ニナツテ居リマス、是デハ甚ダ煩雜ヲ來スノ恐ガゴザイマス、就キマシテハ是ハ命令ヲ以テ定ムル種類餘リ煩雜ニ涉ラナイヤウ、細カイ事柄ニ至リマシテハ、ハツキリト茲ニ但書ヲ以テ現スト云フ譯ニナリマシタ譯デゴザイマス、ツレカラ三條ノ「下水」ト云フ所ニ「道」ノ字ヲ加ヘマシタハ、前申上ゲルガ如キコトデゴザイマス、第四條ノ「爲必要アルトキハ行政廳ノ許可ヲ得テ云々」トゴザイマス「行政廳ノ許可」ト云フ九字ヲ削リマシタ、此削リマシタ趣意ハ、此行政廳ト云フ中ニ市廳ノ行政廳、府縣廳ノ行政廳ト種々ゴザイマス、ツレ等ヲ茲ニ法文ニ悉ク書クコトガ出來ナイ、因テ是ハ削リマシタ、等シク命令云々ト云フモノ、中ハ是ハ現シマスル積デ、茲ニ削リマシタ譯デ、第五條ノ「下水ヲ築造シ云々」ト云フ所ニ「道」ノ字ガ加ツタ譯デゴザイマス、而シテ其條項中ノ「行政廳ノ許可ヲ得テ」ト云フ九字ヲ削リマシタノハ、是亦前述ベマスル如キ事柄デ削リマシタ、第八條中ノ「認ムルトキハ行政廳ニ於テ之ヲ施行シ」トゴザイマス所ノ「行政廳」ノ三字ヲ削リマシタ、當該吏員「ト、斯ウ致シマシタ譯モ、是レ亦先キニ述ベマシタ如ク、行政廳ノ種々ノ行政廳ヲ、此所デハ是ハ市ノ行政廳デゴザイマス、之ヲ「當該吏員」ト改メマシテ、是レ亦先キノ命令ヲ以テ定ムル所デ分ルコトニ變ヘマシタ譯デゴザイマス、第十一條「下水ノ築造又ハ修繕」ト斯ウゴザイマス所ニ「道」ノ字ヲ加ヘマシタノハ、前文ノ如ク「及大修繕」ト云フ文字ヲ削リマシタ事柄ハ、是亦命令中ニ於テ大抵分ルコトニスル積デ、却テ煩雜ヲ避ケルタメニ削リマシタ譯デゴザイマス、ツレカラ此十二條ノ「四月一日ヨリ之ヲ施行ス」ト云フ事柄ニ就キマシタハ、東京市長ノ松田君杯ニ於キマシタハ、之ヲモツト延ベタイト云フ御説モ續々出テ居リマシタガ、ドウモ是ハ最モ急グト云フ必要ヲ認メマスルカラ矢張延ベマセヌ、デ此原案ヲ認メマスルコトニ決シマシタ譯デゴザイマス、次ニ汚物掃除法案ニ附キマシテ御報告ヲ致シマス、此法ニ附キマシタハ、第七條ノ「行政廳」トゴザイマスノ「當該吏員」ト、斯ウ修正ヲ致シマシタ外、原案ヲ至當ト認メマシタ譯デゴザイマス、是デ結了ヲ致シマシタコトニ相成リマシタ、此兩案ニ附キマシテハ最モ緊急ナル兩案デゴザイマスト認メマスカラ、ドウカ速ニ二讀會ヲ開カレンコトヲ希望シマス

○東良三郎君(二百九十二番) 政府委員ニ御尋シマス、下水法案ノ第四條第五條ニ付イテ立案ノ趣旨ヲ御尋スルノデス、其趣旨ハ第四條ヲ見マスト云フ

ト、汚水雨水ヲ疏通スルタメ、隣リ合ツテ丙地ト云フ他人ノ所有者ガアル場合ニ於テ、其土地ヲ通過セシメテ、下水ニ汚水雨水ヲ排出スルノ義務ガアル、斯ウ云フ趣意ニ見エマス、ツコデ疑ヲ存スルノハ、下水ノアル場所ト所有者ノ間ニ、單ニ乙地ト云フ簡單ナ地面ガアル場合ニ、格別制裁ハナイノデアリマスガ、乙丙丁トアツテ、土地ノ所有者ト下水ノアル所ニ大變距離ノアル場合、或ハ一町ナリ二町ナリ大變距離ガアル場合ト雖モ、乙土地ノ所有者ハ雨水及汚水ヲ排除スルタメニ、遠距離ニ鐵管ナリ其他ノ樋管ヲ設ケテ、雨水汚水ヲ疏通スル工事ヲ行ハナケレバナラヌト云フコトニナレバ、大變金ヲ土地ノ所有者ハ負擔シナケレバナラヌト云フ結果ヲ見ルト思フ、幸ニ其乙丙ガ家屋ノ所有者デアツテ、矢張同一ノ義務ヲ有スルタメニ、乙地丙地モ工作ノ義務ガアルナラバ、其乙丙ノ用井テ居ル工作物ヲ利用スルト云フコトノ意味合モ、此四條ノ但書デ見エマスケレドモ、若シ乙丙丁ト其義務ノナイ所有者ガズン、續イテ居ル場合ニハ、第一ノ土地ノ所有者ハ單純ニ一人デ義務ヲ負擔シテ、長イ樋管ヲ以テ、樋管デアリマスカ何デアリマスカ、雨水ヲ疏通スル工作物ヲ自分ノ費用デ負擔シナケレバナラヌトキニハ、或ル場合ニ於テハ其土地ノ價ヨリモ高イ金額ヲ出シテ、其製作物ヲ營マナケレバナラヌト云フ、意外ノ結果ヲ見エシナイカト思ヒマス、其趣意ヲ政府委員ニ御尋ラスルノデ、サウ云フ結果ガアツテモ構ハナイト云フ御趣意デアリマスカ

(政府委員内務省衛生局長長谷川泰君演壇ニ登ル)

○政府委員(長谷川泰君) チョット伺ヒマスガ、唯今御質問ニナリマシタノハ第四條ノ「乙地」汚水雨水ヲ通過セシメルタメ設ケタル所ノ工作物ヲ使用スルコトヲ云々」ト云フ點ニ就イテ御質問デスカ、少シ伺ヒマス

○東良三郎君(二百九十二番) 少シ聽エ兼ネマス

○政府委員(長谷川泰君) 伺ヒマスガ、第四條ニ就イテハ「乙地」汚水雨水ヲ通過セシメ又ハ乙地ノ汚水雨水ヲ通過セシムルタメ設ケタル工作物ヲ使用スル云々」此點ノ御尋デアリマスカ

○東良三郎君(二百九十二番) 左様デス

○政府委員(長谷川泰君) 御質問ノ要點ヲモウ一遍伺ヒタウゴザイマスガイケマセヌカ、左様致シマスト云フト、甲乙ト斯ウアル、丙ニ對シテドウスルカト云フ御質問デアリマスカ

○東良三郎君(二百九十二番) モウ一遍云ヒマセウ、利用スルト云フ上ニ附イテ、汚水雨水ヲ通過セシメルタメ、此通過セシメルタメ云フノハ、乙地ニ工作物ノナイ場合ヲ云フノデ、乙地ニ工作物ガアレバツレヲ使用スルコトガ出來ヌガ、工作物ノナイ場合ニハ、第一ノ土地ノ所有者ガ雨水汚水ヲ通過セシメルタメニ、工作物ヲ營ムコトガ出來ルト云フ風ニ讀メル、果シテ然ラバ乙丙丁ト段々土地ガアツテモ、此土地ヲ盡ク通過セシメルタメ長イ樋管ヲ設ケテ、大變負擔ヲシテ以テ雨水溜リ水ヲ疏通セシメル義務ガアルカ、サウシテ見レバ所謂過重ナ義務ヲ負ハナケレバナラヌ、ツレデモ構ハヌカ

○政府委員(長谷川泰君) 御答致シマスガ、是ハ唯今御質問ニナリマシタヤウナ困難ハナイト、實ハ信ジマスノデアリマスガ、其困難ハナカラウト考ヘマス、元來是ハ地下ニ系統的ノ下水ヲ設ケルノデアリマスカラ、其地下ニ設ケマシタル所ノ下水ニ各ノ土地カラ、其處へ小サイ短イモノヲ設ケマシテ汚水

ヲ流シマスノデアリマス、若シサウ云フ場合ニ於テ甲乙ニ跨ッテ居リマシテ、
甲ノ土地乙ノ方カヲ通ランケレバナラヌヤウナ場合モ、僅ノ距離ニ於テア
ルカモ知レマセヌ、サウ云フ場合ニ於キマシテハ、其工作物ヲモヤイデ落シテ
モ差支ナイ、斯ウ云フ積リデアリマス、唯今ノ御尋ノヤウナ數百間——地下ニ
埋メマス下水道ノ水ヲ排セルタメニ、數百間ノモノヲ設ケマス場合ハナカラ
ウト思ヒマス、コレ故ニ是ハナカラウト信ジマス

○東良三郎君(二百九十二番) 事實ナイト云フノ御答辯デスケレドモ、事實
アルデアラウ、下水ヲ設ケル場所ニ一定ノ制限ガナイノダカラ、場合ニ依ッ
テハ乙丙丁ト他ノ地面ヲ通過セシムルタメニ、一町モ二町モ距離ヲ隔テル場
合ガ必ズアル、コレハアッテモ構ハヌト云フ御趣意デアルカ、其法律ノ意味
サヘ分レバ宜シイ、事實問題ハ別デス

○政府委員(長谷川泰君) 御答申シマス、唯今ノ現在アリマスル下水トハ趣
ガ違ヒマスノデアリマスカラ、唯今ノ御質問ノヤウナ場合ハナカラウト信ジ
マス

○東良三郎君(二百九十二番) サウスルト下水ヲ設ケル場所ハ一定ノ制限ヲ
設ケテ、家屋ヨリ或ル程度ズツト接近ノ場所マデハ、必ズ下水ヲ設ケナケレ
バナラヌト云フコトヲ命令カ何カデ極メルト云フ御趣意デアリマス

○政府委員(長谷川泰君) 御答申シマス、此下水ハ現在敷設シテアリマスル
下水トハ、マルデ趣ガ違ヒマスカラ、若シ此法案ガ行レマスと云フト、現在
ノ下水ハ多クナルノデゴザイマス、其地下ニ敷設シマスル所ノ系統の
下水トハ先キカラ落スト云フデアリマスカラ、コレ故ニ格別此法案ノ如
ク——原案ノ如ク甲乙トアリマシテモ、數百間ノ者ガ乙ノタメニ設ケマス
ト云フ——敷設シマスヤウナコトハ萬ナカラウト信ジマス

○東良三郎君(二百九十二番) 要領ヲ得マセヌガ、宜シイ
○恆松隆慶君(百四十二番) チヨット政府委員ニ質問致シマスガ、此修正ガ
ゴザイマスガ、此委員會ノ修正ニハ政府ハ同意セラレタノデアリマス

○政府委員(長谷川泰君) 左様デゴザイマス、差支ナイ
○恆松隆慶君(百四十二番) 私ハ意見ヲ述ベマスガ、此案ハ最も其緊急ノ法
案デアリマス、目下「ベスト」杯ガ或ル地ニ於キマシテ流行シテ居リマス、前ニ
上水法ガ制定ニナッタ以上ハ、是ニ伴ウテ下水法ナリ、汚物取締法ナリト云
フモノハ、是非制定シナケレバナラヌ所ノ必要ニ迫ッテ居リマスカラ、此場
合直チニ二讀會ヲ開カレテ、讀會ヲ省略シテ確定アラント望ミマス

(「ノウウ」)、「大ノウ」ト呼フ者アリ
○議長(片岡健吉君) 本案ニ就キマシテハ第二讀會ヲ開クヤ否ヤヲ採決ヲ致
シマス、第二讀會ヲ開クニ同意ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 多數
○議長(片岡健吉君) 多數ト認メマス、第二讀會ヲ開クコトニナリマシタ、次
ハ議事日程第二汚物掃除法案、第一讀會ノ續

第二 汚物掃除法案(政府提出) 第一讀會ノ續(特別委員)

○恆松隆慶君(百四十二番) 是ハ更ニ修正モゴザイマセヌ、原案ノ通ニ委
員會デモ協賛ヲ與ヘタヤウデス、直チニ二讀會ヲ開イテ確定セラレンコ
トヲ……

○議長(片岡健吉君) 本案ニ就キマシテ、第二讀會ヲ開クヤ否ヤヲ採決ヲ致
シマス

(「異議ナシ」異議ナシト呼フ者アリ)
○議長(片岡健吉君) 御異議ガナケレバ第二讀會ヲ開クコトニ決シマス、本
案ハ直チニ第二讀會ヲ開クコトニ御異議アリマセヌカ

(「異議ナシ」異議ナシト呼フ者アリ)
○議長(片岡健吉君) 御異議ガナケレバ直チニ二讀會ヲ開クコトニ致シマス

汚物掃除法案 第二讀會
(恆松隆慶君) 讀會ヲ省略シテ直チニ確定議ト呼フ

○議長(片岡健吉君) 全部ヲ議題ニ供シマス——原案ニ御異議アリマセヌカ
(「異議ナシ」異議ナシト呼フ者アリ)

○議長(片岡健吉君) 御異議ガナケレバ原案ノ通決シマス——直ニ三讀會ヲ
開クコトニ御異議アリマセヌカ
(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

汚物掃除法案 第三讀會
○議長(片岡健吉君) 御異議ガナケレバ、直チニ三讀會ヲ開クコトニ致シマ
ス——尙ホ確メテ置キマスガ、今原案ト申シマシタノハ委員會第七條ニ「當
該吏員」ト云フ四字ガ修正ニナッテ居リマスガ、原案ト申シタノハ矢張此修
正シタモノヲ原案ト認メタ譯デアリマスカラ、諸君モサウ御認メニナッテ居リ
マセウカ

(「異議ナシ」異議ナシト呼フ者アリ)
○議長(片岡健吉君) 本案ニ附イテハ御異議アリマセヌカ
(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○議長(片岡健吉君) 御異議ガナケレバ本案ハ確定シタルモノト認メマス、
議事日程ノ第三、明治三十三年度豫算案

第三 明治三十三年度豫算案
○栗原亮一君(十番) 議長

○議長(片岡健吉君) 栗原亮一君
(栗原亮一君演壇ニ登ル)

○栗原亮一君(十番) 明治三十三年度歳入歳出總豫算、竝ニ各特別會計ノ豫
算、豫算外國庫ノ負擔トナルベキ契約ヲ爲スヲ要スルノ件、此豫算ニ附キマ
シテ査定ノ結果ヲ御報告致シマス、此豫算ヲ査定スルニ附キマシテハ、例ノ
如ク先ツ査定方針ヲ協議決定ヲ致シマシタ、其第一ニ於キマシテハ新ニ要求
スル所ノ經費ハ成ルベク削減ノ方針ヲ採ルト云フコトデアリマシタ、第二
ノ方針ハ既定繼續費ノ年度割ノ改定ハ必要已ムヲ得ザルモノ、外ハ協賛ヲ與
ヘナイ、但シ此變更ノ極已ムヲ得ナイモノハ協賛ヲ與ヘルト云フコトデアリ
マシタ、昨年物價騰貴ノコトニ附キマシテ、査定ノ方針ノ中ニ加ヘテ置キマ
シタガ、此豫算ニ於キマシテ格別物價ハ前年度ト相違ナイコトデアリマスル
カラ、此物價騰貴云々ト云フコトハ、査定ノ中ニ別ニ置クノ必要ヲ認メナイ
デアリマスカラ、此査定ニ於キマシテハ省イタデアリマシタ、ソレカラ第三

ニ此物價騰貴ヲ省キマシタガ、一ツ之ニ加ヘルト云フヤウナ動議ガ起リマシ
テ、是ハ武富君竝ニ神輦君等ノ御賛成ガアリマシタ、其第三ノ方針ナルモノ
ハ、經常歲出ヨリ千六百萬圓ヲ節減スルノ目的ヲ以テ修正スルト云フノコト
デアリマシタ、此動議ハ別ニ款項ニ附イテ、ドレニ付イテ幾許ノ削減スル
ト云フ、其費目ヲ指定ヲ致サレテアル所ノ成案デハナカッタデアリマス、詰リ
政府ト協議ヲシテ、サウシテ此事ヲ査定スルト云フノコトデアリマシタ、
此議論ニ對シテハ反對論ガ起リマシテ、此千六百萬圓ト云フヤウナ許多ノ經
費ヲ削減スルト云フヤウナコトハ、蓋シ其目的ハ軍備縮小ニアルガ故ニ、他
ノ委員ニ於テハ今日ノ形勢ニ於テ軍備擴張ノ必要ヲ認メ、既ニ根柢ニ於テ意
見ヲ異ニスル譯デアアルカラシテ、是等ノ論者ハ之ニ反對ヲ致シマシテ、遂ニ
此動議ト云フモノハ僅ニ賛成者ガ九名デアリマシテ削減ヲ致シタムデアリマ
シタ、此豫算ヲ審查致シマスルニ、歲入ハ二億三千六百七十一萬六千七百七
十九圓、歲出ガ二億三千四百三十四萬八千二百四十一圓、歲入超過ガ二百三
十六萬七千九百三十七圓ト爲ッテ居リマス、此金額ノ歲入超過ハ何ニ使用スル
コトニナツテ居ルカト云ヘバ、此監獄費國庫支辨ハ三十三年度ニ於キマシテ
ハ、半年分ヲ實行スルト云フノコトデアリマシテ、其金額ガ百六十九萬九千七
百四圓デアリマス、ツレカラ小學教員補助ガ六十二萬五千七百八十九圓、印
刷局ノ據置運轉資金ニ充テマス金ガ、三萬八千九百九十四圓ト爲ッテ居
歲入超過ヲ以テ是等ノ費途ニ充ツルト云フノ計畫ニナツテ居リマス、歲入經
常部ニ於キマシテハ、一億九千二百二十三萬五千五百九十四圓デアリマス、臨時
部ニ於キマシテハ、四千四百四十八萬四千五百八十五圓、之ヲ前年度ニ比較シ
マスルナラバ、其増減ハ經常部ニ於キマシテハ千三百六十七萬二千六百五十
圓ト云フモノガ、昨年ヨリ増加ヲシテ居リマス、但シ臨時部ニ於キマシテ
ハ、一千二百二十三萬六千八百九十五圓ト云フモノガ減少ヲシテ居リマス、
斯ノ如ク歲入ノ増加ヲ致シマスル重ナルモノハ、前議會ノ増稅ノ結果ニ依
リマシテ、地租、所得稅、酒稅、印紙收入、郵便、電信收入、是等ノ増加額
ト云フモノガ千六百四十六萬六千五百九十九圓デアリマシテ、是ガタメニ歲入ノ
増加ヲ致シタムデアリマス、又此歲入ノ減少シタルモノガアリマスルガ、其
重ナルモノハ海關稅デアリマス、是ハ輸出稅全廢ノ結果、ツレカラ免許及
手數料ニ於テ減ジタムデアリマス、其金額ハ二百七十九萬三千八百五十九
圓デアリマス、差引キマシテ此歲入ノ増加シテ居リマスルモノガ、千三百六
十七萬二千六百五十圓デアリマス、臨時部ニ於キマシテハ公債募集金、債金
繰入、其他ニ於キマシテ、減少ノ高ガ二千五百一十八萬二千四百七十五圓ト爲
テ居リマス、ツレカラ此森林資金繰入、其他ニ於キマシテ増加致シタルモノ
ガ、百二十五萬二千九百三十二圓デアリマス、差引キマシテ二千三百九十九萬九千
五百四十五圓ノ減少ト爲ッテ居リマス、デスノ如ク此臨時ノ歲入、即チ是マ
デハ歲入不足ヲ告ゲテ居リマシタカラシテ、債金繰入其他公債募集ヲ以テ充
ツルモノガ多クアリマシタガ、段々此經常歲入ガ殖エマシタカラシテ、此臨
時ノ歲入ガ減少ヲシテ經常ノ歲入ガ段々増加ヲシテ來タムト云フノハ、先ヅ財
政ガ稍々整理ニ赴クノ徵候ヲ得タムデアリマス、歲出ニ於キマシテハ經常部
ガ一億四千八百九十五萬六千六百七十圓デアリマス、歲出臨時部ガ八千五百
三十九萬五千七百七十一圓デアリマシテ、前年度ニ比較増減ヲ見マスルナレバ、

歲出ニ於キマシテ經常部ガ、八百四十四萬八千五百五十九圓程増加ヲシタムデア
リマス、之ニ反シテ臨時部ニ於キマシテハ、千八百七十三萬三千三百三圓ト云フ
モノガ減少シテ居リマス、是ハ軍備擴張ノコトガ整頓スルニ從ッテ、臨時部ノ
方ガ減少シタムデアリマス、此歲出ノ増加致シマシタノハ、重ニ此重要緊急ナ
ル所ノ事業ニ充テ、アル所ノモノデゴザイマシテ、其金額ガ九百二十三萬圓
餘デアリマス、是ダケノモノハ極急ノ急ナルモノデ、其事業ニ著手シテアリ
マスガ、尙ホ歲入不足ノタメニ其他重要ノ事業ガアリマスガ、即チ此海陸
交通運輸機關ノコトデアアルトカ、或ハ大學高等學校ノ問題トカ、農工業ノ獎
勵、或ハ港灣河川道路ノ修築、其他歲出ノ増加ヲ要スルモノハ許多アリマス
ケレドモ、如何セン未ダ其歲入ノ發達ガ十分デアリマセヌカラ、是等急要重
大ナル事業ハ、餘リ多ク著手スルコトガ出來ナカッタデアリマス、斯ノ如
キ財政ノ有様デアリマスカラシテ、歲出ニ於キマシテハ之ヲ審查スルニ、實
ニ尙ホ歲入ノ不足ヲ告ゲ、事業ノ急ヲ告グルモノ多ク致シタナカノ、削減ノ
餘地ヲ見出シ得ナカッタデアリマス、此査定報告ニ於キマシテモ修正ノ款
項ハ至ッテ少ナク、又削減ノ金額モ最少クアリマスガ、是ハ今日ノ財政
又事業ノ擴張等ニ於キマシテ、固ヨリ其所デアラウト思フデアリマス、詰
リ此豫算委員ニ於キマシテハ、審查ニ十分ノ力ヲ盡シマシテ、其修正ニナリ
マシタ箇條ヲ此處ニ拾ッテ舉ゲマスレバ、內務省所管第十款土木監督署ノ俸
給ノ所デアリマス、此處ニ於テ四千三百五十圓ノ減少ニナツテ居リマス、是
ハ勅任技師二人、委任技師二人ノ要求デアリマシタケレドモ、之ヲ修正シテ
勅任二人ヲ止メマシテ、委任三人ト致シタ結果デアリマス、ツレカラ內務省
所管ノ府縣係給ニ於キマシテ、三萬五千二百圓ノ減少ニナツテ居リマス、是
ハ地方高等官ノ増給ニナツテ居リマスルノヲ、之ヲ削減シマシテ斯ノ如ク削減
ニナツタデアリマス、ツレカラ陸軍省所管ノ第二款ノ軍事費、第十項ノ糧
食費デアリマス、之ニ於キマシテ三十萬圓ノ減少ニナツテ居リマス、是ニハ
種々議論ガアリマシタガ、固ヨリ今日軍備ノ擴張又兵ヲ養フ上ニ附キマシテ、
糧食ノ缺乏ヲ告グルコトハ棄置ケナイコトデアリマスカラ、色々審查ヲ致シ
マシタル所、三十萬圓位ノ減少ヲ致シマシテモ、敢テ兵ノ糧食ノ供給ニハ、支
ヘナイト云フ見込ヲ以テ三十萬圓ノ削減ト爲ッタムデアリマス、第二款ノ軍
事費ニ附キマシテハ少數意見ガ出テ居リマシタガ、是ハ撤回ト爲リマシタ、
海軍省ノ軍事費、第二款ノ第十七項艦營費ノ石炭代價デアリマス、之ニ修正
ガアリマス、即チ之ニ對シテ十一萬五千五百四十一圓九十錢ト云フモノガ減少
シデアリマス、其理由ハ日本炭——和炭一噸九圓五十錢ノ見積デアリマシタ
ガ、是ハ五十錢ヲ減ジテモ買ヘルト云フ見込ヲ以テ、原案九圓五十錢ヲ九圓
ト致シタムデアリマス、ツレカラ煉炭ヲ用フルコトデアリマスガ、此煉炭ノ
中デ二萬六千噸ト云フモノヲ和炭ニ致シテ、アトノ二萬五千噸ダケヲ原案ノ
通煉炭ト云フコトニ積ツタムデアリマス、詰リ五萬噸デアリマシタガ、和炭
ノ方ガ火力ガ弱イト云フコトデアリマスカラ、二萬六千噸ト千噸ダケ餘計ニ
積ツタムデアリマス、マ一ツハ新原ニ於キマシテ石炭ヲ採掘スル、是ガ一萬
二千噸ノ採掘高デアリマシテ、一噸ガ原案ニ於キマシテハ七圓十八錢五厘ト
云フ代價デアリマシタガ、五圓ニ致シテモ——五圓ナラバ普通ノ相場ヲ以テ
買ヘルト云フ見込ヲ以テ、之ヲ五圓ト修正シタムデアリマス、詰リ修正ノ箇

條ハ是ダケデアリマシテ、査定減額ガ合セテ四十五万九千九百一十圓九十錢デア
リマス、シマスレハ歳出ノ總計ガ査定ニ於キマシテハ二億三千三百八十九
萬七千四百九十九圓九十七錢四厘ト云フモノニナツタデアリマス、ソレカラ
總豫算ノ修正ハ斯ノ如クデアリマシテ、特別會計ノ分デアリマス、是ハ臺灣
總督府ノ特別會計ガ重ナルモノデアリマス、之ヲチヨット報告致シマス、
是ハ歳入ニ於キマシテ千二百八十八万九千九百七十六圓六十四錢六厘是ガ經常
部デアリマス、臨時部ハ七百一十三万三千六百五圓八十六錢九厘デアリマシテ、
此臺灣特別會計ガ出來テ以來、成ルベク臺灣ノ自營獨立ヲ圖ルノ考デアルガ、
尙ホ今日十分ノ自營ガ出來ナイカラ補充金ガアリマスガ、其高二千五百五十九
万八千六百一十一圓デアリマス、昨年ヨリ此公債募集ガ出來マシテ、其歳入ニ
ナルベキモノガ、公債ニ於キマシテ四百四十万圓トナリマシタ、即チ歳入ノ四
廉ヲ合セマシテ千九百八十九万五千五百八十二圓五十一錢五厘ト爲ルノデア
リマス、然シテ歳出經常部ニ於キマシテ千二百二十九万五千三百三十二圓八十
一錢一厘デアリマス、歳出ノ臨時部ガ七百一十三万三千六百五圓八十六錢九厘
合テ歳出ガ千九百八十九万五千五百八十二圓五十一錢五厘デアリマシテ、是
ヲ昨年度ニ比較致シマス、歳出ノ増加即チ事業ノ増加ニ伴ヒマシテ
ノ歳出ノ増加シタモノガ、四百四十四万三千二百一十五圓五厘デアリマス、即チ三
十二年度ニ比較シマシテ歳入ノ増加致シタモノガ、百七十六万九千九百九十九
圓四錢六厘デアリマシテ、此歳入ノ増加ト歳出ノ増加ト差引キシマスレ
バ、増加等ヲ差引キシマスレバ凡ソ七十萬圓餘ト云フ歳入ノ増加シタモノデア
リマシテ、餘程財政ハ宜クナツタ有様デアリマス、此歳入ノ増加シタ所以ハ樟
腦、阿片、食鹽、是ガ專賣トナツテ、專賣事業ガ發達シ、又郵便電信等ノ收
入ガ増加シタルタメニ、斯ノ如ク歳入ノ増加ヲ見ルニ至ツタデアリマス、
此補充金ノコトニ附キマシテハ、委員會ニ於キマシテモ色々ト質問應答ガア
リマシタガ、詰リ此補充金ハ今日ニ於キマシテハ、尙ホ臺灣ノ財政上十分ニ
獨立モ出來ヌデアリマス、既ニ計畫ヲ定メテ追々臺灣ノ歳入ガ増シ獨立
スルニ從ウテ、此補充金ノ額ハ減少ニナツテ有ル譯デ、即チ昨年三十二
年度ニ於テハ三百萬圓デアツタガ、臺灣ノ歳入ノ増加ニ伴ウテ三十三年度ニ
ハ、二百五十九万八千六百一十一圓、即チ財政計畫ニ於テ定ツタル通ノ金額ヲ、
三十三年度ニ於テハ三十二年度ヨリ減少シテ、之ヲ交付スルコトニナツテ居
ルノデアリマス、又三十四年度ニ至レバ二百八十八万六千六百八十九圓ヲ濟ム
勘定ニナツテ居ツテ四十二年迄段々減少致シテ此年ニ至ツテ、補充金ハ
已ムト云フ計畫デアリマス、此計畫ト比較シマスレバ、此處ニ七十萬圓バカ
リ餘裕ヲ見ル譯ニナルガ、素ヨリ臺灣ノ財政ハ鞏固ニナツテ、獨立シテ此補充
ヲ仰ガズニ濟ムナラバ、成ルベク之ヲ減少スルコトハ、臺灣總督府ノ當局者ニ
於テモ希望スル所デアラウ、又吾々モ希望スル點デアルガ、併シナガラズノ如
キ計畫ガ定ツテ、之ニ應ジテ臺灣ノ獨立自營ヲ圖ルタメニ、當局者モ經營ヲ
怠ラズヤツタデアラカラ、其増スダケノ額ヲ削ツテハ折角ノ獨立ノ精神ヲ
妨ゲル譯デアリマス、先ヅ是ハ既定ノモノダケハ與ヘルガ當然デアラウ
ト云フノデ、茲ニ板東藤五郎君ノ意見ガ出テ、詰リ注意ニ止マルノデアリマ
シタガ、成ルベク斯ノ如ク景況デアラナラバ、速ニ臺灣ノ自治自營ヲ圖ルタ
メニハ成ルベク補充金ヲ追々ニ減ルヤウナ、計畫ヲシテ貫イタイト云フ希

望デアツテ、當局者ニ於テモ出來得ル限ハ成ルベク此補充金ハ追々ニ減ツテ、
遂ニ臺灣ノ獨立ヲシテ完全ニスルコト云フハ、當局者ニ於テモ勿論希望スルコ
トデアラウト云フコトデ、詰リ注意ヲ與ヘルニ過ギヌコトデアリマシタ、先
ヅ斯ノ如ク修正ノ箇條モ至テ少クアリマシタガ、併シナガラズ中ニ修正ニハ委
員諸君ニ於キマシテモ餘程勉強ヲ致シテ、斯ノ如ク結果ニナツタデアリマ
ス、ソレカラ三十三年度ノ特別會計ノ臺灣ノ分デアリマスガ、是ハ政府ヨリ
修正ヲ求メ來タデアリマスガ、基隆新竹間ノ鐵道トアルヲ、臺灣官設鐵道
事業費ト修正シタ方ガ當然デアラカラ、ソレデ此箇條ヲ改メタイト云フコト
デアリマシタ、此理由ハ打狗ト曾文溪トノ間ニ鐵道ヲ敷ク譯ニナツテ居ルガ、
其鐵道ハ一ノ線路ニ屬スルモノデ、別ニ款ヲ分ケル時分ニハ煩雜デアラカラ、
併シ基隆新竹間トアツテハ、外ノモノガ籠ラヌカラ、寧ロ其名ヲ改メテ臺灣
官設鐵道事業費トシタ方ガ適當デアラウト云フコトデ、修正シタイト云フコ
トデアリマス、是モ併テ報告シテ置キマス、委員會ノ報告ハ斯ノ如キモノデ
アリマス

○野間五造君(二百五十三番) 質問シタイコトガアリマス、此少數者ノ意見
トシテ摺物ニナツテ出タモノガアリマスガ、是ハ撤回ニナツタデアリマス
○栗原亮一君(十番) 撤回ニナツタデアリマス
○野間五造君(二百五十三番) 是ハ委員會室デハ隨分御説モアリ、議論モアリ、
御運動モアツタヤウニ拜見シマシタ、ソレヲ最早活版ニ摺ツテ委員ニ御配リ
ニナツテ居ツテ、謂レナク撤回ニナル答ハナイト思ヒマス、併シ其理由ヲ必
ズ伺フト云フノデハナナイ、委員長ノ御手許デ御聞及ニナツテ、確ニ御撤回ニ
ナツタデアリマス

○栗原亮一君(十番) 唯撤回スルト云フコトデ、撤回ノ理由ハ撤回者カラ述
ベルデアリマセウ

○野間五造君(二百五十三番) 活版ニ摺ツタノヲ、唯都合ガアルカラト云フ
コトデ撤回ヲ御認メニナツタノデスカ

○栗原亮一君(十番) サウデス

○野間五造君(二百五十三番) サウデスカ

○高津雅雄君(百七十一番) 此大藏省所管ニ於キマシテ、第二款第一項公債
元利及手数料、此金ガ三千二百四十八万九千五百二十三圓ニナツテ居リマス
ガ、此項中明治二十年法律第五十號ノ家祿賞典給祿處分法ニ依リ發行スベキ、
整理公債ニ對スル利子金二十五萬圓ト云フモノガ編入ニナツテ居ルヤウニ見
エマスガ、二十五萬圓ハ編入ニナツテ居リマス

○栗原亮一君(十番) 編入ニナツテ居リマス

○高津雅雄君(百七十一番) 此二十五萬圓ハ第十二議會ニ於テ調査ノ結果
七百萬圓ト云フコトデ、井上大藏大臣ハ四十六萬圓ト云フ利子ヲ議會ニ請求
シテ居ル、然ルニ此十三議會ニ於テ賞典祿ノ公債ハ一千萬圓ヲ發行スルト云
フコトハ兩院ヲ通過シテ居ル、然ルニ二十五萬圓ノ利子ヲ出サレデアルハ如
何ナル譯カ、一千萬圓ナラ五分ノ利デモ五十萬圓ノ利子ヲ出サナケレバナラ
ス、然ルニ二十五萬圓シカ出テ居ラヌト云フノハ、ドウ云フ譯デアリマスガ
○栗原亮一君(十番) 委員會ハツレデ適當ト認メマシタノデ、其二十五萬圓
ト云フ理由ハ、政府委員ニ御尋下サイ

○高津雅雄君(百七十一番) 委員會ニテ御調ニナツテ居ラヌノナラ、更ニ幸ヒ御出席デアリマスカラ、大藏大臣ニ質問ヲ致シマス、質問ノ趣旨ハ唯今述ベマシタ如クデアリマスガ、十二議會ニ於テ調査シタルトキニ於テ、願高ガ凡ソ七百萬圓デアツタトキデスカラ、政府ハ四十六萬圓ト云フモノヲ要求サレテ居ル、其後一千万圓ノ公債證書ヲ發行スルト云フコトノ決議ニナツテ居ルニモ拘ラズ、此調ヲ見マスレバ公債ノ利子ハ二十五萬圓ヨリ出テ居ラヌ、是ハ如何ナル譯デ二十五萬圓ヲ出サレタノデアルカ、御答ヲ望ム

(政府委員大藏省主計局長法學博士阪谷芳郎君演壇ニ登ル)

○政府委員(阪谷芳郎君) 唯今ノ御尋ハ半分期ヲ見込デゴザイマス、ソレハ主査會デモ其御尋ガゴザイマシタ

○高津雅雄君(百七十一番) 然ラバ此三十三年度ニ於テ調査局ト云フモノガ出來テ居ルカラ、此調ベタ結果、後半期分出シタト云フノデスカ

○政府委員(阪谷芳郎君) 左様デス

○高津雅雄君(百七十一番) ソレハ四月一日ヨリ是ハ渡スト云フノ理由ニハナツテ居ラナイ

○政府委員(阪谷芳郎君) 左様デス、丁度六箇月分ノ利子デス

○出水彌太郎君(百五番) 私ハ此場合ニ文部大臣ニ説明ヲ請ヒマス、若シ文部大臣ノ御出席ガナケレバ文部省ノ政府委員デモ宜イ、此來年度ノ豫算ヲ熟讀致シマスルニ、陸海軍省ハ軍備擴張等ノタメニ非常ナ増額デアリマルガ、是ハ措キマシテ、逓信省農商務省ノ増額ニ比シマシテ、文部省ノ増加ト云フモノハ甚ダ少イデス、所ガ教育上ノコトニ就イテハ……

○議長(片岡健吉君) 出水君各省ノコトナラ各省ノ所管ヘ行ツタ所デ、御質問ニナツタラドウデス

○出水彌太郎君(百五番) 唯今質問スルコトガ出來ヌノデスカ

○議長(片岡健吉君) 出來ナイト云フコトハナイケレドモ、各省ノコトナラ各省ノ所ヘ行ツタカラデ、遅クアルマイト思フデス

○高木正年君(百二十八番) 議長

○議長(片岡健吉君) 高木君ノ質問モ全體ノ質問デナケレバ……

(武富時敏君演壇ニ登ル)

○武富時敏君(二十八番) 私ハ一ツノ動議ヲ提出致シマス「豫算ヲ修正シ歲出ヲ節減センガタメ、本院ハ特ニ九名ノ委員ヲ擧ケ政府ト協議セシムヘシ」(「モウ一遍」ト呼フ者アリ)「豫算ヲ修正シ歲出ヲ節減センガタメ本院ハ特ニ九名ノ委員ヲ擧ケ政府ト協議セシムヘシ」斯ウ云フ動議ヲ私ハ提出致シマス、ソレデ此動議ヲ提出致シマスル理由ヲ簡短ニ説明致シマス、唯今豫算委員長ノ報告ヲ聽キマスレバ、事業ノ急ヲ告グルモノ甚ダ多クシテ、歲出ニ節減ヲ加フルノ餘地ガナカッタ、斯ウ云フ報告デアリマシタ、成ル程豫算委員ノ査定案ト云フモノハ、政府案ニ削減ヲ加フルコト僅ニ四十萬圓カソコラノ僅々タル金額ニ止ツテ、政府案ニ全ク手ヲ著ケナカッタト申シテモ宜イ査定案デアアル、併ナガラ吾々ノ見ル所デハ、此豫算ハマダ十分ニ節減ヲ加フルノ餘地ガアルト信ズル、何故ト云ヘバ此豫算ト云フモノハ、果シテ國家ノ必要ニ應ズルノ經費デアルカ否ト云フコトヲ考ヘテ見ナケレバナラヌガ、此豫算ト云フモノハ多クハ各省ノ分ケ取りノ結果ニ成立ツテ居ル、有力ナル大臣ガ坐ッ

タ省ハ多分ノ豫算ヲ貪リ、無方ナル大臣ノ坐ツテ居ル省ノ豫算ハ甚ダ其金額ガ少イ、詰リ此豫算ノ形ヲ見テ見ルト、各省大臣ノ分ケ取りニ任シタ豫算ト云ツテモ決シテ過言デハナイト思フ、ソレ故ニ此豫算ト云フモノハ、何時デモ政費ノ實際ト符合スルコトガ出來ナイ、其證據ハ多言ヲ煩フルマデモナイ、諸君ノ御手許ニ同ツテ居ル三十一年度ノ現計ヲ御覽ニナレバ明ニ分ル、三十一年度ノ現計ノ數字ノ上ニ現レテ居ル所ハドウデアアル、經常部ニ於テ豫算ノ殘額七百餘萬圓、臨時部ニ於テ豫算ノ殘額ガ千三百萬圓、又臨時部ノ中デ繼續費トシテ後年度ニ其豫算ヲ繰越シタモノガ大約七千四百萬圓、此三項ヲ合セテ九千何百萬圓、殆ド一億圓ニ近イ所ノ豫算ガ殘餘ヲ生ジテ居ルノデアアル、三十一年度ノ豫算額ガ何程デアアルカト云ヘバ、凡ソ三億——追加ニ追加ヲ重ネテ三十一年度ノ歲出ノ總額ハ三億圓ニナツテ居ルガ、此三億圓ノ豫算ノ中デ、後年度ニ繰越スベキモノト全ク豫算ノ殘餘ニナツタモノト合セテ見ルト、即チ一億圓、殆ド歲出總額ノ三分ノ一ト云フモノガ使ヒ切レズニ居ル、三分ノ一ト云フモノガ使ヒ切レズニ其事業ハ出來ズニ殘ツテ居ル、尤モ此三十一年度ハ例ノ井上伯ガ大藏大臣トシテ、繰延政略ヲ行ハレタ時デアアルカラ多少其結果モ此中ニアルニ違ヒナイ、併ナガラ此繰延金額ヲ取ルマデモナク、七千四百萬圓ト云フ後年度ノ繰越金額ガアルニ、實際ノ事業ガ出來ナイ、陸軍モ海軍モ初見込ダ通ノ事業ガ出來ナクツテ、是ダケノ殘餘ヲ生ジテ居ル、是ハドウ云フ譯デアアルカ、抑モ豫算ト實際ト斯ノ如キ大ナル相違ヲ生ズル所以ト云フモノハ、即チ各省分ケ取りニ成立ツタ豫算デアアルカラ、斯ウ云フ結果ヲ生ズルノデアアル、初カラドウシテモ是ハ急要止ムベカラザル事務ト云フノデ、其事務ニ應ズルノ經費ヲ要求シテ、此豫算ガ成立ツテ居ルナラバ、豫算ト實際ト斯様ニ大ナル相違ヲ生ズル譯ハナイガ、是マデ藩閥政府ノ豫算ノ仕組ト云フモノガ、唯今申ス通ノ事情ヨリ成立ツテ、先ヅ豫算ヲ貪リ取ツテ置イテ、而シテ此豫算ノ金ヲ如何ニシテ使ハウカト云フ詮議ヲスルノデアアル、ソレ故ニ斯ウ云フ結果ニナル、豫算ヲ濫ニ貪リ取ツテモ、事務ノ實際ハソレ程歩ルコトガ出來ナクツテ、又社會ノ時運モソレ程ノ大金ヲ使フコトヲ許サナイデ、遂ニ三十一年度ノ豫算ニ斯様ナ三分ノ一ノ殘餘ヲ生ズルト云フヤウナ結果ヲ見ルノデアアル(拍手スル者アリ)ソコデ是ハ三十一年度ノ現計ヲ以テ、唯例シテ御話ヲシタ譯デゴザイマスルガ、思フニ三十一年度ノ豫算、即チ今日ノ案頭ニ出テ居ル所ノ此豫算モ、亦此ノ如キモノ大ニアルト私ハ信ズル、其一二ヲ御話ヲシテ見ヤウナラバ、先ヅ今年ノ豫算デ一ツモ新シイコトガナイト云フノハ、外務省所管デアアル、外務省所管ニハ何モナイ、唯昨年ノ引續ノ經費ヲ要求シタダケニ止ツテ、一トシテ新シイモノハナイ、年ヲ逐ウテ外交ノ事務ガ多端ニナルニモ拘ラズ、三十三年度ノ外務省ノ豫算ト云フモノハ一ツモ新シイモノガナイ、流石世間ニ無能ト謳ハレタ大臣ノ居ル外務省……(拍手起ル)斯様ナ譯、又其次ガ文部省、時運ガ頻リニ此教育ノ改良擴張ヲ促シテ居ルニモ拘ラズ、文部省ノ豫算ヲ見レバ此教育ノ大體ニ向ツテ、改良擴張ヲ計畫シタ迹ハ更ニナイ、唯一ノ實業教育ヲ置クトカ、或ハ修身教科書ヲ編纂スルト云フヤウナ、唯多少零碎ナル増加額ハゴザイマスガ、一トシテ見ルベキモノガナイ、其増加ノ金額ト云フモノモ誠ニ僅々タルモノデアアル、一モ取ツテ以テ諸君ト議論ヲ闡ハスベキ材料ハナイノデアアル、然ルニ外務

省文部省既ニ斯ノ如ク意氣地ナキニモ拘ラズ、他ノ部分ニ向テハ實際必要ノ
ナイ經費マデモ、數百萬圓要求シテ居ル述ガアル(拍手スル者アリ)ソレハ自
由黨ノ豫算委員諸君ト、陸軍當局者ト問ニ先日來御押合ヒガアツタト聞イテ居
リマス(拍手起ル)陸軍ノ方デ係給ノ豫算ノ中實際其係給ヲ受クベキハナイ
ノガアル、成ル程サウデアラウト思フ、三十一年度ノ現計ヲ見テモ經常部ノ軍
事實費ノ中ニ、二百萬圓ノ豫算殘額ヲ生シテ居ル、經常部ト云フモノガ斯ウ豫算
ト實際ト違フハ誠ニ困ル、臨時部ノ歳出デアレバ或ハ不意ノ事變ニ遭遇シ
テ、豫算ダケノ仕事ガ出來ナクテ、其金ガマルデ餘ルト云フヤウナコトモゴザ
イマスガ、經常部ノ而モ陸軍費ノ最モ正確ナル最モ細密ナル豫算ヲ組ムベキ、
此軍事費ニ、三十一年度ニハ二百萬圓ノ殘餘ヲ生シテ居ル、而モ係給ニ於テ百
萬圓ノ殘餘ヲ生シテ居ル、是ハ初豫算ヲ組ムトキハソレダケノ金ヲ使フ積デ
モアツタラウガ、第十二師團ノ擴張忽チ此將校下士ノ必要ガ増加シタニ依ッ
テ、金ハアツテモ此將校下士ヲソレダケ使フコトガ出來ナイ、將校モ下士モ
多少ノ教育訓練ヲ要スルノハ無理ナ話デアツテ、半年ヤ一年デサウ云フ人物
ガ、金サヘアレバ買ヘルト云フ譯デハナイカラ、遂ニ斯ウ云フ結果ヲ生シタ
ノデアアル(拍手起ル)三十二年度ノ自由黨ノ豫算委員諸君ト、陸軍當局者ト押
合シタト云フノモ、詰リ此士官ノ給與ハドウデアアルカ、即チ此士官ニ爲ス
ベキ人物ガナイト云フノデ、遂ニ豫算ハアツテモ此豫算ヲ使フコトガ出來ナ
イト云フ、此陸軍ノ豫算ガ出來テ居ルノデアアル、ソコデサウ云フ譯デ、一方ニ
ハ非常ニ節儉ナル豫算ガ出來、又一方ニハ非常ニ過大ナル實際ソレダケノ金
ハ使フコトガ出來ナイト云フ程ノ、過大ナル豫算ヲ貪リ取ッテ居ルト云フヤウ
ナ譯デ、此三十二年度ノ豫算ニ對シテ、精密ニ根本ヨリ審查ヲ加ヘタナラバ、
マダ大ニ歳出ノ上ニ於テ節減ヲ加フベキ餘地ハ、綽々シテアルト吾々ハ信
ズルノデアアル(拍手起ル)ソレ故ニ本員ガ此動議ヲ提出シタ所以デゴザイマス
ルガ、第一ニ二三ノ此節減ヲ加フベキ事柄ヲ御話ヲ致シマセウナラバ、第一
ニハ臺灣ノ豫算、殊ニ臺灣ノ中デモ臺灣ノ守備ニ係ル經費デアアル、諸君モ御記
憶ノ通臺灣ノ守備ハ十二師團ノ中ヨリシテ、十二師團完成ノ後ハ派遣スルコ
トニ取計フト云フコトハ、第九議會デ政府ト此衆議院トノ約束ガ出來テ居ル、
ソコデ最早十二師團ノ完成ヲ告ゲテ居ルノデゴザイマスカラ、吾々ガ見ル所
デハ、今日ヨリモ速ニ彼ノ守備ノ方法ヲ改正シテ、宜シク内地ノ十二師團ノ
中ヨリ、臺灣ノ守備トシテ派遣セラル、ヤウニシタイ、加之ナラズ段々臺灣
ノコトヲ取調ベテ見マスルト、餘程臺灣ノ軍事費ニ附イテハ節減ヲ加フベキ
餘地ガアルト思フノハ、臺灣ハアレダケノ一ツノ島デアツテ、其兵ハ僅ニ三個
ノ旅團、三個ノ旅團デアリナガラ、臺灣ニ往ツテ見ルト砲兵工廠モ備ツテ居
ル、軍吏部モ備ツテ居ル、兵器所モ備ツテ居ル、殆ド此内地ノ十二師團ヲ管
轄シテ居ル、内地ト同様ナ小サナ島デアリナガラ、總テ何モ斯モ獨立シテ大
金ヲ使ツテ居ルト云フ有様デアアル、斯ノ如キ必要ガ何處ニアルカ、内地ノ砲
兵工廠デ臺灣ノ守備兵ニモ、其兵器ノ供給ヲ怠ルコトサヘナケレバ、何モ臺
灣ニ獨立シテ別ニ軍吏部ヲ置クノ必要モナケレバ、砲兵工廠ヲ設ケルノ必要
モナイ、又兵器製造所ヲ特ニ設ケテ置クノ必要モナカラウト吾々ハ信ズル、
詰リサウ云フ不必要ノモノヲ改正ヲ加ヘタナラバ、臺灣ノ軍事費ニ於テ節減
シ得ルコト幾許ノ金額ニ達スルカ、ソレハ能ク當局者ト相談ヲ遂ゲテ、熟

議ニ熟議ヲ加ヘテ節減シ得ベキ金額ハ、成ルタケ節減ヲ加ヘタイト云フノガ
本員等ノ希望デアアル、又臺灣ノ民政部ニシテモ其通、元來年々歳々果シキリ
モナク、母國カラ金ヲ注足シテ屬地ノ政治ヲシテヤルト云フ例ガ、何レノ國
ニアルカ、何レノ國デモ屬地ハ屬地ノ歳入ヲ以テ、獨立自營ノ途ヲ立テ、往
クト云フコトハ、無論ノコトデアツテ、今日ノ我邦ノ臺灣程母國ノ方カラ少
カラヌ金ヲ注足シテ、屬地ノ經營ヲスルト云フ例ハ何處ニモナイ、ソレ故ニ民
政局ノ經費ノ如キモ成ルベク臺灣ノ經費ノ歳入ヲ以テ、臺灣ノ民政ニ充テ
ルヤウナ計畫ヲ立テタイト本員等ハ希望シテ居ルデアツテ、是モ當局者ト熟
議ヲ遂ゲタナラバ、必ズ大ニ其經費ヲ節約シ得ルコトガ出來ルデアラウト信
ズル、畢竟臺灣ハ矢張此全體ノ豫算ノ弊害ヲ受ケテ、臺灣總督府ハ臺灣總督府
ノ分ケ取りノ豫算ヲ持ッテ居ッテ、成ルタケ此金ヲ餘計ニ取ッテ置イテ此金
ハドウカシテ豫算ノ殘餘ヲ生シナイヤウニ使ハウトシテ居ルノデアアルカラ、
詰リ金ガ豐ナレバ豐ナルダケ、臺灣ノ政治ハ腐敗ノ傾ガアル、ソレ故ニ此
臺灣ニ向ッテハ大ニ節減ヲ加ヘナケレバナラヌ、第二ハ將來ノ行政費ニ於
テモ、マダ隨分節減ヲ加ヘルノ餘地ガアルト吾々ハ信ズル、昨年ノ行政費
ヨリモ亦今日ノ行政機關ハ非常ニ膨脹ヲシテ居ル、甲ノ省ニモ局ヲ置キ乙
省ニモ課ヲ増シ、年々月々此機關ハ膨脹スル、是モ時運ノ伸暢ト共ニ已ム
得ザル膨脹トスレバ、吾々ハ強テ節減ヲ唱フルデハナイガ、決シテ時運ノ伸
暢ニ伴フ已ム得ザル膨脹ト見ルト出來ナイ部分モ大ニアルノデゴザイ
マスカラ、此行政費モ多少ノ節減ヲ加ヘルコトハ決シテ難イコトデアナイ、其次
ニハ陸軍ノ陸軍モ前ニ御話シタ通ノ次第デゴザイマスカラ、是モ多少ノ節
減ヲ加ヘル餘地ハ必ズアル、又今日陸軍程急ニ膨脹シタモノハ外ニ其例ガゴ
ザイマセヌカラ、必ズ急ニ膨脹スル際ニハ弊害ノ其間ニ伴フモノデアアル、是
ハ此急ニ膨脹シタ陸軍ノ行政ヲ緊縮シテ、陸軍ノ軍制ヲ緊縮シテ此軍費ノ
節約ヲ圖ルト云フコトハ、最モ今日ノ急務ト吾々ハ信ズルノデゴザイマス
カラ、是モ當局者ト熟議ニ熟議ヲ加ヘテ多少ノ節減ヲ加ヘタイト考ヘル、先ヅ凡
ソ節減ヲ加フベキ方面ハ即チ今御話シタ通ノ次第デゴザイマスカラ、願クハ
本員等ノ動議ヲ容レテ、此衆議院ハ特ニ九名ノ委員ヲ舉ゲテ、此豫算ヲ修正
スルガタメニ、政府ト協議ヲ開カレンコトヲ望ム、吾々ハ今ノ内閣ノ政略ニ反
對スルガタメニ、殊更ニ攻撃ヲ加ヘテ政務ノ阻滯ヲ望ム者デハ決シテゴザイ
マセヌ、唯此藩閥政府ノ財政ハ先刻來申上ゲマシタ通ノ積弊ガゴザイマス
カラ、當局ノ内閣ト雖モ此積弊ヲ改ムルト云フコトハ、餘程難ズル所デゴザイマ
スカスラ、此際ニ此衆議院ノ力ヲ以テ此財政ニ關スル藩閥ノ積弊ヲ茲デ茲除
タイト、本員等ハ切ニ希望ノ餘リ、此動議ヲ提出シタノデアリマス

○議長(片岡健吉君) 武富君ノ今ノ動議ハ豫算ニ對スル先決問題ト思ヒマス
カラ、贊成ガアリマスレバ問題ト爲リマス

(贊成々々)ト呼フ者アリ

○議長(片岡健吉君) ソレデハ武富君ノ動議ハ、議場ノ問題ト爲リマシタ
○星亨君(九十一番) ソレナラバ議長ハノ質問ハ止メマスガ、武富君ニ質問
ヲ致シマス、サウスレバ此問題ヲ議スルコトニナリマスレバ、一箇條ダケ武富
君ニ伺ッテ置キタイノハ、去年憲政黨内閣デ作ッタ所ノ豫算ハ、アレハイ、

ガ今日ノハイケナイカラ、即チ代ヘテ協議ヲシタイト云フコトニナルノデゴザリマス、又ハ今日トハアレハ餘程違フテ居ルカラ、去年ノ憲政黨内閣ノ拵ヘタ通ニ豫算ヲ作レト云フコトニナルノデアルカ、其邊ヲ一ツ承リタイ

○武富時敏君(二十八番) 御答ヲ致シマス、憲政黨内閣ノ豫算デ、カ悪ルイカ、ソレヲ答辯スル責任ハ私ハ持チマセヌ、若シ私ガ其責任ヲ持ツトスレバ、星君モ亦其一部分ヲ荷ハナケレバナラヌ

○星亨君(九十一番) 尙ホ承リタイ、サウスルト詰リ私ハ實ハドウ云フ意味カ分ラヌノデアルガ、ドコイラノ所マデ協議ヲ決定致シタイト云フコトヲ承リタイノデアル、唯臺灣ハドウデアル、何ハドウデアルト云フダケハ分ラヌノデアルガ、豫算ヲドウ云フ風ニ協議ヲシタイト云フコトデアルカ、其意味ガ分ラヌケレバ反對スルコトモ出來ナケレバ、賛成スルコトモ出來ナイノデアル、ソレヲ承リタイ

○武富時敏君(二十八番) ソレハ先刻説明ヲシタ通デゴザイマス、御分リニナラナケレバ、反對ヲ爲サヌ方ガ宜シ

○星亨君(九十一番) 私ハ演壇ニ登リテ是ニ反對スルノ必要ガナイト考ヘル、此處デ反對スレバ澤山デアルト考ヘルカラ、此席ヨリ反對ヲ致サウト考ヘルノデアル、武富君ノ言レルニハ、政府ト協議スルタメニ協議委員ヲ選メー誠ニ不見識ナル考ナリト云ハナケレバナラヌト考ヘル、若シ武富君其他進歩黨ノ人ニシテ、豫算ニ於テ削除スベキ所ガアルナラバ、茲ニ削除致スガ宜シノデアル、修正スベキ所ガアルナラバ、自ラ修正致シタル宜シノデアル、然ルニサウ云フコトハ致サズ、唯修正スル所モアルカナイカ分ラナイノデ、仕方ガナシニ協議會ト云フモノヲ開イテ貰ヒタイト云フ外ハナイト私共ハ察スルノデアル、如何ニ何ト云ウタ所ガ、世ノ中デハチヤント目ガアリマスカラ見テ居ルノデアル、若シ修正シタケレバ此處デ修正致シタル宜シノデアル、九人ノ委員ヲ選ンデサウシテ修正スルコト云フヤウナ必要ハ茲ニナインノデアル、自ラ修正シテ賛成ヲ得タルコレデ宜シ、不賛成ナラバコレデ止メタル宜シノデアル、茲ニ九人ノ委員ヲ選ンデ政府ト協議スルコト云フコトハ、殆ド自ラ成竹ト云フモノハナシニ、自ラノ計畫ハナシニ、宜シク政府ニ豫算ノ組方ヲ御極メ下サイト云フヤウナモノデ、不都合千萬ノ動議ナリト云ハナケレバナラヌト考ヘマスカラ、即チ直ニ此動議ヲ否決アランコトヲ私ハ希望致シマス

〔大藏大臣伯爵松方正義君演壇ニ登ル〕

○大藏大臣(伯爵松方正義君) 諸君、唯今武富君ガ動議案ヲ御出シナサレテ、其理由ヲ御説明ニナリマシタガ、其理由ニ附イテ一言ヲ陳述シテ置カナケレバナリマセヌ、三十一年度ノ豫算ニ附イテ、大變現計上大キナ使ヒ殘リガアルト云フ御説明デゴザイマス、三十一年度ノ豫算ハ如何デゴザイマシタ、諸君、是ハ豫算ガ前年度ニ據ッタデハアリマセヌカ、諸君、定テ御承知デアラウ、三十一年度ノ豫算ハ成立シマセヌダツタカラ、前年度ノ儘デ執行致シマシタ豫算デゴザイマス、其現計デアリマスカラ、是ハ能ク御記憶ニナリタイ、ソレデ一言申シマス、適切ナル参照ニハナリマセヌ、ソレカラ又一言申サナケレバナラヌ、此政府ノ豫算ハ藩閥ノ餘弊ヲ承ケテ、始終五ニ貪リ取ッテ、サウレテ力ノアル大臣ハ多ク取り、力ノナイ大臣ハ少イ、ドウデセウ、此豫算

ハ何デス、議場ノ神聖ナ名士諸君ニ訴ヘタ豫算デハアリマセヌカ、ドウデゴザイマセウ、今日始テ出シタ豫算デハナイト私ハ心得マスガ、諸君ハ定テサウデゴザイマセウ、尤モ吾々ガ責任ヲ取ッテ豫算ヲ調整致シマスルガ、慎重ニ慎重ヲ加ヘマシテ、此豫算ヲ提出致シマシタ、始ニ述ベテ置キマシタ通、時勢ノ發達ニ從ヒ豫算モ増加スルコトハ、避クベカラザルコトデアルガ、サリナガラ當年ノ豫算ハ慎重ニマデノ豫算ヲ元トシテ、ソレニ又出來ルダケノ節約ヲ加ヘ、又新事業ノ如キハ成ルベタ此財政ノ許ス範圍内デ、歳入歳出ノ平均ヲ保ツ方針ヲ以テ、計畫致シマシタコトハ陳述シテ置キマシタ、諸君モ御記憶デゴザイマセウ、然ルニ無法ナ御説明ト私ハ先刻カラ心得テ居ッタ、如何トナレバ昨年ノ豫算ハ誰ガ調整シタ、私ハ昨年豫算ヲ提出スルキモ前内閣ノ調整シタ儘ガ適當デアリマスカラ、其儘出シマスゾト云フコトハ、私ハ議場デ陳辯シテ置イタ、定テ諸君ハ御承知デゴザイマセウ、其時ハ武富君ハ何處ノ地位ニ居ッタ御方デアル、最モ此豫算ノコトニハ大本家デアッタ、政治上ノ德義ハ御互ニ保チタイモノデゴザイマス、一言茲ニ申シテ置キマス

〔加藤政之助君演壇ニ登ル〕

○加藤政之助君(二百一十一番) 諸君、私ハ武富君ノ動議ニ賛成スル者デアリマス、所デ自由黨ノ院内總理星亨君ハ、今武富君ノ御説ニ質問ヲ試ラレテ、尙ホ武富君ノ議論ヲ攻撃セラレタ、御前ハ若シ此豫算ニ修正ヲ加ヘルト云フ考ガアルナラバ、政府ニ協議スルコトハ待タナイ、各項ニ附イテ勝手ニ修正案ヲ作ッテ、此處デ決シタルバ宜シイデハナイカ(其通ト呼フ者アリ)斯様ナコトヲ言レマシタデゴザイマスルガ、星亨君ハ曾テ議長ヲモ勤メラレタ所ノ一人デアル、然ラバ憲法ヤ會計法ヤ總テノコトニハ通曉セラレテ居ルデアラウト思フ、若シ通曉セラレテ居ルナラバ斯様ナコトハ決シテ言レナイ筈デアアル、既定ノ歳出ヲ吾々ガ縱シ議院ノ權能ト雖モ、勝手ニ削減スルコトハ出來ナイ、是非政府ニ協議セヨト云フコトハ、是ハ法律ノ結果デアアル(拍手起ル)實ニ星亨君ハ法律ヲモ知ラナイ、亂暴ナ議論ヲ試ラレル所ノ人デアルト云ハナケレバナラヌ(修正ヲスルニ妨ガアルカ)ト呼フ者アリ)ツコデ一體此國費ハ何ノタメニ使フカト申シマスルト云フト、政府ノ職責ヲ果スタメニ使フ所ノ金デアルト私ハ考ヘル、而シテ政府ノ職責ト云フコトニ就イテハ、曾テ學者ガ色々ナ議論ヲ致シテ、或ハ人民ノ生命財産ヲ保護スレバ、ソレデ政府ノ職責ハ足ルト云フ議論モ一時ハ定説ト爲ッテ居リマシタ、併ナガラ近時此財政學ノ次第ニ進歩スルニ從ッテ、此政府ノ職責ト云フモノニ就イテノ定義モ、大ニ變テ政府ハ保護義務ヲ盡スバカリデナクシテ、是ト同時ニ發達義務ヲ盡サナケレバナラヌト云フコトハ、學者ノ定論ト爲ッテ居ルノデアリマス、而シテ今日我豫算案ヲ見マスルト云フト、此豫算案ノ上デハ政府ノ保護義務ヲ盡スト云フコトニ附イテノ費用ハ、實ニ巨額ニ上ッテ居ル、併ナガラ此發達義務ヲ盡スト云フ方ノ費用ハ、割合ニ少額デアリマスル、歐米諸國ガ今日ノ有様ニ達シタノハ何故デアアルカト申シマスルト云フト、所謂此發達義務、保護義務、此二ツガ平衡ヲ得テ兼行フ所以デアアルノデアル、ソレ故ニ彼ノ英吉利ノ如キ、佛蘭西ノ如キ、亞米利加ノ如キ、著々發達スルノデアリマス、此保護義務ニ力ヲ用ヒテ多クノ金ヲ使ッテ、發達義務ニ多クノ金ヲ使ハナイト云フ國ハ、西班牙ノ如ク、伊太利ノ如ク、國力ハ次第ニ衰耗シテ非常ナ困難ニ陥ルト云フコ

トニナテ居ルノデアル、而シテ是が何カラ來タト云フト、先刻武富君ノ述
ベラレタル通、我國デハ恰モ此鳥、獸ニ食物ヲ蒔イテ與ヘルト同ジコトデ、
強イヤツガ一番多クノ部分ヲ喰ツテ、弱イヤツハ少ノ部分ホカ喰ハナイト云
フ、今日ノ豫算ノ實況ニナツテ居ルノデアル、鳥、獸デアレバ強イヤツガ
多クノ部分ヲ喰ツテ弱イヤツガ少シ喰ツテモ是ハ妨ハナイ、各個別々ニ強イ
ヤツハ發達スルガ、弱イヤツハ死デモ妨ナイ、併ナガラ此政治上ノ機關ハ大
藏省ニシロ、内務省ニシロ、逓信省ニシロ、海陸軍ニシロ、皆一國ノ機關デ
アリマス、此機關ガ一ハ發達ヲシ、一ハ衰ヘルト云フコトデアリマシテハ、
終ニハ其權衡ヲ失シテ此國家ノ進運ヲ阻害スルコト云フコトニ至ルノハ明ナル
道理デアルト思フ、而シテ之ヲ矯正スルノハ誰ノ責任デアアル、大藏大臣ノ責
任デアアル、大藏大臣ガ其入ヲ得テ、立派ナ技術ガアレバ分ケ取ヲシヤウト云
テ來テモ、オットレハサウハイカナ、此金ハ逓信省ニ分配ヲシナケレバ
ナラヌ、此金ハ陸軍省ニヤラナケレハナラヌ、ト云テ、之ヲ立派ニ矯正スル
コトガ出來ルノデアリマス、然ルニ大藏大臣ガ甚ダ考ガ間違ッテ居ッテ、其技
倆ガナイカラ、今日斯ノ如キ結果ヲ結ダモノデアルト言ハナケレバナラヌ、何
ガ考ガ間違ッテ居ルカト云フト、此程私ガ公債ノ募集ニ附イテ大藏大臣ニ質
問シタトキニ、大藏大臣ハ斯様ナ答辯ヲ與ヘタノデアアル、支那ニ較ベテ、公
積ヲ日本ガ募ッタトキニ結果ガ宜シイカラト云ウテ威丈高ニ威張ラレタ譯デ
アル、而シテ我邦ノ今日ノ現況ハ如何デアアル、我邦ノ對等條約ヲ結ンダト云
フガタメニ、恐多クモ、天皇陛下下ガ之ヲ悅バセラレテ、過日ノ詔勅ニモ此事
ヲ御進ニナツタ次第デアリマス、然ラバ苟モ我日本帝國ノ政府ノ大藏大臣
タルハ、歐米ノ列國ヲ標準トシテ、我日本ノ財政モ、同ジ土臺ノ本ニ立タ
シムルト云フ位ノ考ヲ以テ、シテ行カナケレバ十分ノ處理ハ出來ヌノデアリ
マス、然ルニ今ヤ此滅亡ニ垂トシテ居ル所ノ支那帝國ニ比ベテ、抵當ナシニ
幾ラカ利息ガ安タテ外國公債ヲ募ラレタト云ッテ、之ヲ威丈高ニナツテ茲ニ
威張ラレルト云フノハ、恰モ間ノ子ガ此黑坊ヨリ少シ色ガ白、少シ智恵ガア
ルト云ッテ、倫敦ノ真中、巴里町ノ真中ニ行ッテ自慢ヲスルト同ジコトデ、
實ニ耻ヲ知ラナイ實ニ耻辱ヲ知ラナイヤリ方デアルト思ヒマス、斯様ナ考デ
ハ此豫算ノ鞏固ヲ得ルダケノ途ヲ大藏大臣ガ開クコトハ出來マイト思フ、ソ
レガ故ニ僕ハ大藏大臣ニ向ッテ反省ヲ求ムルノデアアル、而シテ文明ノ進歩ト
共ニ國費ノ増スト云フコトハ、免レナイト云フコトヲ今大藏大臣ハ云レマシ
タガ、私モ實ニ左様ニ考ヘルノデアアルガ、併ナガラ此言葉ヲ以テ直チニ文明
ガ進メバ、國民ハ多ノ租稅ヲ負擔シナケレバナラヌ譯デアルト云フコトノ解
釋ヲスルノハ、實ニ非常ナル誤デアルト私ハ言ハナケレバナラヌ、何ゼナレ
バ、歐羅巴諸國ハ文明ノ進歩ト共ニ國ノ費用ガ増シタト云フコトハ、是ハ統
計ノ上デ事實デアリマス、併ナガラ是ト同時ニ國家ノ力ト云フモノガ増シタ
ノデアアル、國民ノ財產ト云フモノガ増シタノデアリマス、ソレ故ニ租稅ノ高
ハ増シタガ國民ノ之ヲ負擔スル力ガ増シテ居ルカラ、歐羅巴ノ諸國デハ此國
費ヲ國民ガ負擔スル割合、即チ租稅ノ割合ト云フモノガ此二三十年間年々ニ
減シテ參々ノデアリマス、此事ハ茲ニ私ガ統計ヲ舉ゲテ證明ヲ致シマスル
ガ、亞米利加デハ千八百五十年ニ國費ノ高ハ、三千九百萬弗デアリマシタ、
而シテ亞米利加ノ國民ノ財產ハ七十一億三千五百萬弗デアリマシタ、之ヲ

此國費ノ負擔額ニ步合ヲ立テ、見マスルト云フト、丁度一萬弗ノ財產ヲ有ッ
テ居リマスル者ガ、五十餘圓ヲ國費トシテ出シテ居ル譯ニナツテ居ル、而
シテ尙ホ四十年間經ッタ千八百九十年ニハドウナツテ居ルカト云フト、亞米
利加ノ國費ハ三億二千萬弗ト云フコトニ上リマシタデゴザイマス、併ナガラ
之ヲ負擔スル國民ノ力ハドレダケニナツテ居ルカト云フト、六百五十億三
千七百萬弗ニナツタノデアリマス、即チ一萬分ノ四十一ヲ負擔スルト云フコ
トニナツテ居ル、此四十年間ニ二割ノ租稅ヲ減シタノト同ジ結果ニナツタノ
デアリマス、英吉利ハドウデアアルカ、英吉利ハ千八百二十二年ニ丁度五千八百
萬磅ト云フモノヲ國費トシテ提出シタ、而シテ國力ハドウデアアルカト申シ
マスルト云フト、二十五萬磅デアリマシタ、之ヲ步合ニ掛ケテ見マスルト云
フト、一萬分ノ二百二十八ヲ國民ガ負擔スルト云フコトニナツテ居タ、然ル
ニ七十年過ギタ千八百九十年ニ至リマシテハ、英吉利ノ國費ハ丁度八千六百
萬磅ニナツタノデアアル、而シテ國力ハドレダケニナツタカト申シマスルト云
フト、百億萬磅ニナツタノデアリマス、サウシマスルト云フト、英吉利デハ千
八百九十年ノ今日ハ一萬分ノ八十六ト云フモノヲ負擔スル、一萬圓ノ財產ヲ
有ッテ居ル者ガ八十六圓負擔スルト云フコトニナル、則チ二百二十八ガ八十六
ニナツタノデアリマス、三分ノ二弱、英吉利ノ國民ハ七十年前ヨリ輕イ
租稅ヲ負擔シテ居ルコト云フコトニナツテ居ル、佛蘭西ハドウデアアル、佛蘭西
ハ千八百七十一年ニ丁度三十億四千六百萬法、是ガ國費ノ高デアアル、而シテ
國民ノ此力ガドレダケアツタカト申シマスルト云フト、千七百五十萬法ト
云フモノデアアル、即チ佛蘭西ハ萬分ノ百四十九ト云フモノヲ國民ガ負擔シテ
居ル、然ルニソレヨリ十五年ヲ過ギタ今日、千八百八十六年ニハドレダケデ
アツタカト云フト、三十二億九千四百萬法ト云フモノガ國費ノ高デアアル、而
シテ國民ノ富ハドレダケニナツタカト申シマスルト云フト、二千億萬法ト丁度一
萬分ノ百六十四ト云フ、是モ十五年間ニ國民ノ負擔ノ九分ヲ減シタ譯デアアル、
歐羅巴諸國皆斯ノ如ク國費ヲ増シタガ、併ナガラ國民ノ負擔ハ減シタノデア
リマス、我日本國ハドウデアアリキスカ、我日本國ハ此間神鞭君ノ言レタ通、我
日本ノ國力ハ極餘計ニ見積リマシテモ、百二十億マデナイト云フコトデアアル、
而シテ約ソニ見積リマシタナラバ百億位ガ適當デアルト云フコトデアアル、而
シテ國民ノ負擔ハドレダケデアアルカ、即チ昨年ノ此豫算會議ニテ決シタ追加
豫算杯ヲ入レナイ高ダケデモ、二億四千萬圓ト云フコトニナツテゴザイマセ
ウ、サウスルト一萬分ノ二百四十ト云フモノヲ、我日本ノ國民ハ今日負擔シ
テ居ルノデアアル、之ヲ英吉利ニ比ベタドウデアアル、殆ド三倍ノ租稅ヲ國民
ガ負擔シテ居ルノデアアル、斯ノ如キ有様デアレバ、我國民ノ負擔ハ非常ニ重
イト言ハナケレバナリマセヌ、又歐羅巴ノ諸國デハ中央ノ經費ハ文明ノ進歩
ト共ニ減ルガ、地方ノ經費ハ増スト云フコトニナツテ居ル、然ルニ我日本デ
ハ是ガ二ツナガラ相増シテ來タト云フ今日結果ヲ爲シテ居リマス、今日吾
ガ負擔シテ居ル所ノ租稅ハ如何デアアルカト云フモノニ、理財學ノ上カラ申シマ
スルト云フト、此租稅ノ原則モ次第々々ニ國家ノ進歩ト共ニ變テ參々、今
日デハ租稅ハ果進主義ヲ執ルノガ宜シイト云フコトニ、理財學者ノ殆ド定論
ニナツテ居ル、然ルニ我日本國ノ租稅ヲ果進主義ヲ採ッテ、即チ實力ノアル者
ニ租稅ヲ課スルト云フコトノ主義ガ常徹ッテ居ルノハ、何デアアルカト申シマ

全國中重要ナル河川港灣道路等ノ設計監督ヲ致サヌケレバナリマセズ、又内務省ニ於テ直轄致シテ居ル河川ノ改修工事ノ設計ヲ致ストカ、或ハ地方ニ水

害ノゴザイマシタ時分ニハ、其水害工事ノ調査ヲ致ス等ノ事務ヲ擔任致シテ居リマスルノデ、近來頗ル事務ガ多端デ、現人員ヲ以テ之ニ應ズルコトガ頗ル困難デアリマシマス、殊ニ近來地方ニ於キマシテ、河川或ハ港灣等ノ如キ計畫若クハ地方ノ技師ガ調査致シマシタモノニ就イテ、監査等ヲ請求シテ參ル向モアリマシテ、是等ハ必要ナコトデアリマスルシ、速ニ處理シテ置カナケレバナラヌノデアリマスガ、何分監督署ニ於テ手薄デ手回リ兼ネル次第デアリマスルノデ、甚ダ困難ヲ感ジテ居ルノデゴザイマスカラ、何卒原案ノ通御協賛アラントヲ希望致シマス

〔賛成々々ノ聲起ル〕

○議長(片岡健吉君) 十款ノ一項ニハ委員會ノ修正ガアリマスカラ、此委員會ノ修正ニ附イテ採決ヲ致シマス——修正委員會ノ修正ニ同意ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 少數

○議長(片岡健吉君) 少數ト認メマス——原案ニ就イテ採決致シマス、原案ニ同意ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者

〔少數々々ト呼ビ又多數々々ト呼フ者アリ〕

○議長(片岡健吉君) 起立ヲシタ人ハ宣告ヲスルマデ起立シテ居ラナイト分リマセヌ

〔少數々々ト呼ビ又多數々々ト呼フ者アリ〕

○星亨君(九十一番) チョット採決ニ附イテ承リマス 原案ニ附イテ決ヲ御採ニナツタノデスカ

○議長(片岡健吉君) 左様

○星亨君(九十一番) 今マデ原案ニ附イテ決ヲ採ル例ハナイト思ヒマス

○議長(片岡健吉君) 是ガ間違ッテ居ルト云フ説ガアリマスカラ、宣告ヲ仕直シマス

〔異議ナシ異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(片岡健吉君) 靜ニナサイ、委員會ノ修正説ニ附イテ採決ヲ致シマシタラ少數デアリマシタカラ、原案ニ附イテ採決ヲ致シマス——原案ニ同意ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 多數

○議長(片岡健吉君) 多數ト認メマス、原案ニ決シマス——他ハ原案ニ御異議ハアリマセヌカ

〔異議アリト呼フ者アリ〕

○議長(片岡健吉君) 御異議ガアレバ採決シマス、原案ニ同意ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 多數

○議長(片岡健吉君) 多數ト認メマス、原案通過シマス

○星亨君(九十一番) 此案ヲ出サレテ決ヲ採ルニ就キマシテ、原案ニ異議ガナイト云フナラ、起立ヲスルコトハ御省キガ願ヒタイ、略シテモ宜シイと思ヒマス

○議長(片岡健吉君) 唯今ハ異議ガアリマシタカラ、原案ニ就イテ採決シマシタ

○工藤行幹君(二百七十九番) 吾々ハ異議ノアル者デゴザイマス、定メシ同感ノ諸君モアラウト思ヒマス、是ガ多數決ナラ仕方ガナイガ、滿場異議ガナイト云フコトデハ困リマス

〔異議ナシ異議ナシト呼ビ又異議アリ異議アリト呼フ者アリ〕

○議長(片岡健吉君) 靜肅ニシナサイ議長ノ宣告ガ聽エマセヌカラ、靜肅ニ願ヒマス——第十一款ヨリ第十三款マデヲ議題ニ供シマス

〔異議ナシ異議ナシト呼フ者アリ〕

〔異議アリ異議アリト呼フ者アリ〕

○議長(片岡健吉君) 御異議ガアリマスカラ、原案ニ附イテ採決致シマス——原案ニ同意ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 多數

○議長(片岡健吉君) 多數ト認メマス、原案ニ決シマス——第十四款全部ヲ議題ニ供シマス

〔早川龍介君今度ハ多數ト認メマスト呼ビ笑聲起ル〕

○原田赴城君(七十四番) 議長

○議長(片岡健吉君) 原田赴城君

〔原田赴城君演壇ニ登ル〕

○原田赴城君(七十四番) 諸君、本員ハ委員會ノ決議ニ反對致シテ、即チ政府提出案ニ賛成ヲ表スル者デゴザイマス、金額ハ減ニ些々タル金額ニシテ小問題ノヤウデゴザイマスクレドモ、決シテ小問題トハ認メマセヌ、内治外交財政ト並ビ稱スル、其内治上ニ重大ナ關係ヲ持ッテ居ルト信ズルノデゴザイマス、而シテ本員ハ分科會ニ於キマシテハ、此削減説ニ賛成ヲ表シタノデアリマス、其削減説ニ賛成ヲ表シマシテハ、元來近年府縣ノ高等官以下判任官ニ至ルマデノ諸俸給ガ至テ僅少デアアル、内地ノ刷新上ニ大ニ妨ガアル、斯ウ云フ意見ヲ有ッテ居ルモノデゴザイマス、然ルニ比較的其求ムルニ急ナル判任官ノ増給ヲ措イテ、尙ホ高等官ノミニ増給ヲスルハ、權衡ヲ失スル、此理由ヲ以テ削減説ニ賛成ヲ致シタ者デアリマス、所ガ豫算委員會ニ於テ政府委員ノ説明ニ依ッテ、政府ニ於テハ明年度ニ於テ財政ノ繰合ヲ附ケテ、判任官ノ諸俸給モ増額ノ豫算ヲ提出スル見込デアルト云フ意向ヲ認メマシタ故ニ、然ラバ本員ガ削減説ニ賛成ヲ致シマシタ所ノ理由ハ消滅スルト共ニ、本員等ガ多年希望致シテ居ル所ノ判任官ノ諸俸給ヲ増スニ至ッテハ、無論ハ賛成セザルヲ得ズト云フ理由ヲ以テ、本員ハ原案復活ヲ希望スルノデアリマス、聊此地方ノ行政費ノコトニ附キマシテ、大ニ内治上ニ關係ヲ持ッテ居ルモノト信ジマスルガ故ニ、諸君ノ御清聴ヲ煩シタイ積デゴザイマス、二十一年ヨリ十箇年間ノ統計ヲ徴シテ見マスルト、二十一年ニ府縣官吏ニシテ國庫ノ支辨ニ屬スルモノ、俸給及諸給旅費ノ額デアリマスル、二十一年ニハ三百三十二万二千七百八十三圓デアリマシタノデゴザイマス、然ルニ二十二年ニ至リマスルト三百七十七万四千二百五十二圓ニ減シマシタ、即チ一年ニ比較シテ減シマスルコトガ、十四万八千五百三十一圓デアリマスル、又二十三年ニハ三百二十七万四千四百四十七圓、此年ハ前年ヨリ九万圓増シテ居リマスルガ、其翌年

即チ二十四年ニナリマスルト三百九万六千三百三圓デ、即チ前年二十三年ニ比較致シマスルト十七万八千餘圓ノ減額ニナリテ居リマスル、又其翌年二十五年ニ至リマスルト三百二十六万六千八百八十八圓、即チ前年度ニ比較致シマシテ六万餘圓ノ減額デゴザイマス、斯ノ如ク年々歳々地方費ヲ減シマシテ、即チ三十年ニ至リマスルト二百三十二万二千七百六十七圓デアリマス、之ヲ十年前ノ二十一年ニ比較致シマスルト百万圓ノ減少デアリマス、諸君、二十一年ノ物價ト今日ノ物價ヲ比較致シマシタラバ、殆ド價ハ倍ニ上リテ居ル、其反比例ニ地方判任官高等官以下ノ俸給ガ殆ド三分ノ一ニ減シテ居リテ、是デ地方政務ノ刷新ヲ計ルコトガ出來マスルカ、決シテ出來ヌコト、思フノデアリマス(「簡短々々」ト呼フ者アリ)宜シウゴザイマス、ソレトマダ對照致シマスルニ、此中央政府ノ諸俸給デアリマスル、之ヲ比較致シマスルト、二十一年以來此三十年ニ至ルマデノ間、地方ノ費用ニ反對シテ此方ハ増額ヲ致シテ居ルデアリマス、尤モ二十八年二十九年ニハ減シテ居リマスルガ、矢張此三十年ニ至リマスルト云フト、中央ノ費用ハ増加致シテ居リマス、一々之ヲ述ベマスルト頗ル長クナリマスカラ、約シテデス、地方ノ費用ハ十年此方年々歳々減シテ居ル、中央ノ俸給以下諸給ニ至ッテハ年々歳々増シテ來テ居ル、斯ウ云フ結果ニナルノデアリマス、諸君中央政府ハ何デアリマスルカ、即チ地方ニ對スル之ハ監督廳デアアル、其監督廳ノ方ガ斯ノ如ク膨脹致シテモ、其被監督者ノ地位ニ立ッテ地方ニハ中央ト相伴ハナケレバ、即チ尾大振ハズニアラズシテ、所謂龍頭蛇尾デ、到底地方ノ政務ヲ刷新スルコトハ出來マセヌ、故ニ本員等多年ノ希望ハ、中央モ地方モ首尾相貫通スルヤウニ致シタイト云フ希望デアリマスル、然ルニ明年度ニ於テ財政ノ都合ヲ繰合セテ、判任官以下ノ諸俸給ヲ増額スルト云フニ至ッテハ、多年ノ希望茲ニ達シマスノデアリマスカラ、分科會ニ於テ反對シタルニ拘ラズ、本員ハ茲ニ贊成ヲ表スル者デゴザイマス、願クハ諸君、地方政務ノ有様ヲ御一考ニナリマシタナラバ、是非共本員ノ說ニ御贊成ヲ願ヒタイモノデアリマス

(「贊成々々」ノ聲起ル)

○(「章君(九十一番) 私ハ贊成ヲ致シマスルガ、其理由ニ至ッテハ少シ違ヒマスカラシテ、一分間程述べタイ、此處ヨリ述べマス、先ヅ其前ニ當ッテ進歩黨デアリマスガ、憲政本黨ノ人々ハ此豫算全體ニ反對デアルト云フコトデアッタト聽キマスガ、サウスレバ帝室費ニモ反對スルト云フコトニ吾々ハ認メルト考ヘルノデアアル、帝室費ニモ對シテ反對シタルモノト云ハナケレバナラヌト私ハ考ヘル、而シテ此原田君ノ贊成ノ理由ヲ述べルノハ、即チ地方官ノ俸給ヲ増サナケレバナラヌ、地方官ノ高等官ノ俸給ヲ増サナケレバナラヌ、理由ハ、此高等官ノ品格ヲ保タナケレバナラヌト云フ理由ニ外ナラナイト考ヘルノデアアル、ト云フモノハ段々外國ト我國トノ交際ガ頻繁ニナッテ參ッテ、實際上ニ於テモ随分費用モ入ルコトデアアル、又我國ガ段々進ムニ從ッテ、偏僻ノ長官ト雖モ亦ソレノ費用ガ多クナッテ參ルカラ、其品格ヲ保ツニハ必要ト考ヘマスカラシテ、即チ政府案ノ如ク豫算委員會ノ削除ニハ反對ヲシテ復活ノコトニ贊成ヲ致シマスノデアアル、是ダケヲ述べマス

(「贊成々々」ノ聲起ル)

(「政府委員内務次官小松原英太郎君演壇ニ登ル」)
(「無用々々」ト呼フ又「モウ宜シイ止メヨ止メヨ」ト呼フ者アリ)
○政府委員(小松原英太郎君) 必要ナコトハ委員會デ述べマシタ通デゴザイマスカラ、何卒原案ノ通御協賛下サルコトヲ希望シマス
(「贊成々々」ト呼ビ又「宜シ」ト呼フ者アリ)
○議長(片岡健吉君) 本案ニ附イテ採決ヲ致シマスガ十四款ノ第一項ニハ豫算委員會ノ修正ガアリマスカラ、豫算委員會ノ修正ニ附イテ採決ヲ致シマス、豫算委員會ノ修正說ニ同意ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス
起立者 少數

○議長(片岡健吉君) 少數ト認メマス、原案ニ附イテ採決ヲ致シマス、原案ニ同意ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス
起立者 多數

○議長(片岡健吉君) 多數ト認メマス、原案ニ決シマス

(「其他原案異議ゴザイマセヌ」ト呼フ者アリ)

○議長(片岡健吉君) 第二項以下總テニ附イテ採決致シマス、御異議アリマセヌカ
(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○議長(片岡健吉君) 御異議ガナケレバ原案ノ通決シマス

○恆松隆慶君(百四十三番) 議長、チヨット一言申シタウゴザイマス……

○議長(片岡健吉君) 十五款ヨリ内務省ノ所管ノ終リマデヲ議題ニ供シマス
(恆松隆慶君「經常部二十款マデ一括ニナランコトヲ希望致シマス、異議ゴザイマセヌ」ト呼フ)

○議長(片岡健吉君) 是ハ委員會ノ修正說モアリマセヌガ、本案ニ付イテハ御異議ナイモノト認メマス
(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

(恆松隆慶君「臨時部全體ヲ問題ニセラレンコトヲ望ミマス」ト呼フ)
○議長(片岡健吉君) 此内務省ノ合計ハ今原案ノ通決シマシタカラ、其結果トシテ之ヲ原案ノ通復スルコトニ附イテハ御異議アリマスカ
(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○議長(片岡健吉君) 大藏省全部ヲ議題ニ供シマス
(「委員長報告ニ異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○議長(片岡健吉君) 大藏省全部ハ委員會ノ修正モアリマセヌカラ、原案ニ御異議ナイモノト認メマス
(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○議長(片岡健吉君) 陸軍省所管ノ第一款ヲ全部議題ニ供シマス、是ハ委員會ノ修正說モアリマセヌガ、原案御異議ナイモノト認メマス

○高木正年君(百二十八番) 唯今ハ陸軍省デスカ、私ハ通告ヲシテ置キマシタガ、議長ノ御手許ニ參ッテ居リマス

○議長(片岡健吉君) 陸軍省第二款デアアリマセヌカ

○議長(片岡健吉君) 陸軍省全體デス

○高木正年君(百二十八番) イ、エ、陸軍省全體デス

○議長(片岡健吉君) 高木正年君

(高木正年君演壇ニ登ル)

○議長(片岡健吉君) 是ヨリ陸軍省所管第二款ヲ議題ニ供シマス

○議長(片岡健吉君) 是ヨリ陸軍省所管第二款ヲ議題ニ供シマス
○高木正年君(百二十八番) 諸君、私ハ陸軍省全體ニ對シテ反對ノ意見ヲ表明致ス考デゴザイマシタガ、通告致シテ居ルニモ拘ラズ、第一款ガ濟ミマシタカラ、第二款以下即チ三款以下ノ全部ニ附テ自分ハ此案ニ反對ノ理由ヲ述ベヤウト思ヒマス、(ノウウ)ト呼フ者アリ一體此我國ノ今日ノ經濟ニ附イデマス、縱令十年計畫ト云フコトガ以前ニ定マテ居ルニモ拘ラズ、是非トモ財政ノ上ニ附イテ一大考慮ヲ要サネバナラヌト云フノハ、恐クハ斯ク申ス自分ノミナラズデス、政府黨ト稱スル人ニモ其意思ヲ窮迫シタナラバ、即チ私ト同一ノ意見ヲ持タル、デアラウト思フノデゴザイマス、今日我國ノ財政ハ如何ナル境遇ニ達シテ居ルカ、今日我國ノ財政ノ窮迫ニ往ク所ノ其界ニ至テハ、實ニ吾々ヲシテ國家ノ運命ヲ疑ハシメザルベカラザル一大窮迫ノ時期ヲ見ルノハ、蓋シ遠キニアラザルベシト思フノデゴザイマス、一體陸軍ノ十二師團、及之ニ加フル所ノ臺灣ノ守備隊、即チ全體ニ互ル所ノ我國ノ陸軍ノ兵數ハ、實際我國ノ經濟ノ度合實際我國國民ガ之ニ對シテ納稅ヲスル程度ノ上ニ附イテ、甚ダ安全ナル我國ノ財政ノ上ニ立タシメル所ノ莫豫算ナリト言ヒ得ルヤ否ヤト云フノガ問題デゴザイマス、諸君ハ議會ノ多數ガ此豫算ニ對シテ異議ナキガタメニ、恰モ二ツノ汽罐車ヲ備ヘテ坦々タル所ノ鐵道線路ヲ飛ブガ如クニ思フノハ大ナル誤デゴザイマス、苟モ在野黨ヲ以テ任ゼラル、人ナラバ、此豫算ニ對シテ丁寧親切ニ議シ、又丁寧親切ニ國民ノ意思ヲ參酌シテ發表スルコソ、即チ諸君ノ務デハゴザイマセヌカ、諸君ガ若シ慎重ノ態度ヲ取ッテ議セラル、ナラバ、何ゾ斯ク申ス高木正年ガ病ノ身ヲ以テ、此演壇ニ登ッテ演說ヲスルノ必要ハナイノデゴザイマス、然ルニ私ヲシテ斯クアラシメルノハ、即チ諸君ガ財政ノ上ニ就イテ如何ニモ研究ノ度ノ少イノヲ嘆ズルノデゴザイマス、(ノウウ)ト呼フ者アリ一體國ノ總テノ設備ト云フモノハ、國家ノ所謂出產ノ力、即チ國民ノ生活ノ力ト相伴ハネバナラヌト云フノハ、申スマデモナイコトデゴザイマス、陸軍ノ十二師團、之ニ加フルニ臺灣ノ一師團半ハ、正ニ我國國防ノ完備セシメルニ足ルモノデアアルカト申シマスナラバ、恐クハ他ノ設備ニ不足ガアルガタメニ、此十二師團ナルモノガ縱シヤ、亞細亞ノ東方ニ一ノ事件アリトスルモ、恐クハ此兵ノ半數モ國外ニ出スコトガ出來ナイト云フ、今日ノ實際ノ有様デアリマス、諸君ハ日清戰役ニ於ケル我國ノ凱旋ヲ祝スルニ醉ウテ、今日十二師團ノ兵備ヲ以テ更ニ第二ノ飛躍ヲ試ミ得ベシト思フノハ、大ナル間違ナリト斯様ニ考ヘラレネバナラヌデゴザイマス、何ガ間違デアアルカト云ヘバ、今日我國ノ總テノ戰爭ニ備フル所ノ運漕船、是等ノ陸兵ヲ護ッテ彼ノ地岸ニ達セシメル所ノ海軍ノ防備ハドウデアアルカト申シタナラバ、恐クハ彼ノ國防ナリト私ハ斷言スルヲ憚ラヌノデゴザイマス、日清戰爭ニ二十五萬人ヲ彼ノ地ニ送

タノハ、如何ナルモノガ此間ニ之ヲ紹介シタリヤト云ッタナラバ、支那ノ海軍ガ全滅シタ後デアッタルヲ以テ、纔ニ是ダケノ兵ヲ送ッタノデハゴザイマセヌカ、我國海軍ノ設備ガ如何ニ完全ナリトスルモ、今日海軍ノ設備ノ上カラ考ヘテ見タナラバ、所謂歐洲列強ノ總テノ海軍ヲ全滅セシメタル後ニアラザレバ、恐クハ日清戰爭ダケノ兵ヲ彼ニ送ルコトハ出來ヌノデゴザイマス、一體申シタナラバ國防ノ豫算位、總テノ具備セナイモノハナイノデゴザイマス、昨年以來殊ニ陸軍省ハ所謂軍機ノ保護ト云フコトヲ頻ニ主張セラレマシテ、議會ニ對ッテハ是ガ法案ヲ提出シ、人民ニ對ッテハ之ニ對シテ警告セラレタノデゴザイマス、然ルニ如何ニ保護ヲ名トシテモ、總テノ兵備ガ整ハナイガタメニ、兵備ガ整ハナイガタメニ、十二師團、是ニ増スニ一師團半ノ兵ヲ備ヘテ肅然トシテ我國ノ國防ハ完備シタリト威張ッテ見デモデス、僅ニ橫濱カラ橫須賀ニ往ク間ノ汽車ノ設備ハドウデアアルカト云ヘバ、臨戰地トシテ戰時ノ時ニ當ッテハ特別ナル警戒ヲ要セネバナラヌ、橫須賀海兵團ノ中ヲ通抜ケテ往クカラシテ、縱シヤ橫濱賀山ニ上ッテ西洋人、若ハ敵國ノ間諜ヲシキ者ガ寫眞ヲ撮ラズトモ、汽車ノ窓カラ橫濱賀山内ノ我國ノ總テノ設備、總テノ艦裝等モ容易ク見ラル、ノデゴザイマス、獨リ十二師團ノ兵備ノ完備シタリトテ、決シテ之ニ依ッテ我國ノ國防ハ完全シタリト云フコトハ出來ナイノデアリマス、既ニ外ニ向ッテ送ル所ノ艦ナク、外ニ向ッテ送ル所ノ警備船不足ナリトセバ、此十二師團ト云フモノハ、全ク其一半カ、若クハ強テ私共過激ノ修正ヲ爲サズトモ、確ニ二師團若クハ三師團位ノ兵ハ減ジテ、此費用ヲ以テ他ヲ救済スルカ、若クハ現時今設備ヲシツ、アル所ノ要塞等ニ向ッテ、尙ホ一層ノ完全ナル所ノ警備ヲ爲サシメルコトニスレバ、免モ角モ、凡ソ政府ガ言責ヲ以テ立チ、政府ガ責任ノ重キヲ知ッテ提出セラレタル、豫算案全部ノ中デ最モ不完全ナルモノハ、即チ陸軍省ノ豫算ナリト云フノハ唯今ノ趣旨デゴザイマス、私ハ甚ダ此間ニ於テ疑ハネバナラヌノデゴザイマス、臥薪嘗膽ト云フコトハ、十年計畫ノ初ニ於テ能ク諸君カ口ニセラレタ言葉デアリマス、今日ノ陸軍ノ有様ハドウデアアルカ、寧ロ兵ノ多キタメニ總テノ兵備ニ缺ク所アリト言ッテモ可ナル所デアリマス、現ニ昨年ニ於テ施行セラレタル所ノ彼ノ演習ノ如キハドウデアアル、成ル程兵ノ多イノハ實ニ數年前ニ數倍スル所デアアルガ、其結果ハ新聞紙ノ傳フルノミナラズ、世間ノ眼目アル人ハ、皆之ヲ稱シテ居ルガ、如何ニモ昨年ノ演習ハ兵ノ多キノミデ實際ニ於テ稱揚スベキモノナク、寧ロ日清戰爭以前ヨリモ今日ノ陸軍ハ、總テノ準備ノ點ニ於テ足拉ノ揃ハヌト云フコトハ自白シタルデハゴザイマセヌカ、一體私共ヲシテ豫算ヲ適當ニ審查セシメ(笑聲起ル)若クハ私共ヲシテ責任アラシメル位地ニ置イテ、陸軍ノ豫算ヲ編成シタナラバ、是ダケノ兵數ヲ他ニ向ケテモソツト有要ナル總テノ兵備、若クハ今日最モ窮迫シツ、アル所ノ我國國民ヲ救済スルカ、二者其一ニ任シテ所謂適當ナル豫算ヲ提出セシメ、適當ナル豫算ニ於テ國是ヲ定ムルコトガ出來得ルデアラウト思フノデアリマス、獨リ陸軍ノ兵數ガ大ナリト云フノデゴザイマセヌ、(先生モウ澤山ダ)ト呼フ者アリ)一

體經濟社會ノ上ニ附イテ、此陸軍ガ如何ナル關係ヲ有チ、陸軍ノ設備ガ如何ナル現在ノ有様ニナリテ居ルカト尋ネテ見タナラバ、一體十年計畫ト云フ名ハ既ニ定メテ居リ、其擴張ニ關スル費用ハ既定ノ目ニ、遞年度其他ノ方法ニ依ツテ、別ニ他ニ求メズトモ出來ルコトニナリテ居リマスガ、焉ゾ知ラン此十年計畫ニ伴フ所ノ臨時計畫ニ依ツテ、總テノ設備ヲ爲セバ、從テ其設備ヲ爲シタ以後ニ於テハ、經常費ナルモノハ、ドンノ増シテ來ルデハゴザイマセヌカ、決シテ彼ノ十議會ニ於テ十年計畫ヲ爲シ、其時ニ於テ國家將來ノ歲入ヲ議シ、國家ノ將來ニ於ケル財政ノ針路ヲ定メタ以上ハ、是ニ依ツテ、安心シテ即チ國ノ豫算ハ成立ツモノデアル、所謂國家ノ財政ハ此途ニ依ツテ歩ミツ、アルモノデアルト思フノハ、大ナル間違デアルト言ハネバナラヌデゴザイマス、何故サウデアアルカ、諸君、物價ノ騰貴ト云フモノハ確ニ十年計畫ノ費用ヲ一倍セシメルト云フ危險ニ遭遇スルノデゴザイマス、決シテ十年計畫ヲ定メタ當時ノ豫算ハ幾年カニ跨ル所ノ總テノ繼續費、幾年カニ及バントスル所ノ經濟上ノ反射ト云フモノハ、益々國民ノ經濟界ヲ危惧セシムル度ニ進ムノデゴザイマス(モウ宜シイ)ト呼フ者アリ(マダ澤山アリマス、(モウ澤山ダ)ト呼フ者アリ)左様ニ御妨ナサレバ、私ハ十二時マデモ饒舌リマス(十分拜聽シマシタ)ト呼フ者アリ)ソレカラ諸君ト共ニ、殊ニ財政ノ上ニ就イテ一ノ警告ヲ政府ニセネバナラヌ、一ノ注意ヲ國民ニ與ヘナケレバナラヌ問題ガアルノデアルノデゴザイマス、凡ソ物價ノ騰貴ト云フ場合ニ於テ、通貨ヲ減少スルト云フコトハ、普通經濟上ノ途デアツテ、即チ此途ニ依ツテ國ノ經濟ヲシテ水平線以下ニ陷ラザラシメンコトヲ努メネバナラヌコトハ、申スマデモナキコトデゴザイマス、然ルニ我國ノ財政ハドウデアアルカト申シタナラバ(此時議長高木君ニ注意ス)(大ニヤルベシ)又「モウ宜シ簡短キヤ」ト呼フ者アリ)通貨ヲ減少シテ物價ノ下落ヲ求メルト云フコトハ、經濟ノ原則デアアルガ、如何ニセシ吾國ノ財政ト云フモノハ極最モ近キ例ヲ申シタナラバ、我國ノ歲出ハ我國ノ日本銀行ニ於テ準備スル所ノ所謂兌換券ノ總テノ數ト一致シテ居ルノデゴザイマス、何レノ國ニ至ツテモ、何レノ邦土ニ至ツテモ、其國ノ貨幣ト一年ノ經費ト相伴フ如キ、殆ド所謂我日本帝國ノ貨幣ヲ一度ハ殘ラズ政府ニ取ツテ、更ニ之ヲ散ラスト云フガ如キコトガアツタナラバ、如何ニシテモ國家ノ財政ト云フモノ、安全ヲ期スルコトハ出來ナイノデゴザイマス、既ニ我國ノ財政ノ基礎、即チ我通貨ノ數ハ明ニ少額ナルガタメニ、若シ所謂財政ノ機關タル所ノ日本銀行等ニ於テ、通貨ヲ減ズルト云フ策ヲ採ツタナラバ、直チニ事業ノ中止ヲ命ズルト同シ結果ニナルノデゴザイマス、是ハ何デアアルカト言ヒマスレバ、我國ノ財政ガ薄弱デアアルカラ已ムヲ得ナイノデゴザイマス、然ルニ陸軍省ハドウデアアルカト云ヘバ、陸軍ニ於テ無暗ニ設備ヲ大イニスルト同時ニ、所謂不急ノ土木ヲ起シ、若クハ收容シ餘ル所ノ總テノ物品ヲ備フルガタメニ、如何ニ中央ノ銀行ニ於テ若クハ中央ノ機關トシテ立ツテ居ル所ノ銀行ニ於テ、之ガ警戒ヲ爲スモ陸軍自ラガ求メル所ノ物ニ依ツテ、物價ガ漸々騰貴シテ參ル、物價ガ騰貴スレバ即チ十年計畫ノ全ク完備スルコトノ

出來ナイ途ニ陷ラシムルノデゴザイマス、今一ツ諸君ト共ニ注意シナケレバナラヌコトハ何デアアルカト云フト、我國ノ金貨制度ト云フモノハ確ニ三十三年以後ノ經濟家ニ於テ、安全ナル保障ヲ爲シ得ルカト云フコトガ問題デゴザイマス、今日ニ於テ陸軍省ノ如キ各國防ノ上ニ附イテ海軍ト相合セズ、總テノ機關ト相合ハズ、徒ニ膨脹セシムルコトガアツタナラバ、總テノ事業ニ向ツテ金貨ノ外國ニ流出センコトヲ止メナケレバナラヌ、之ヲ換ヘテ申セバ、陸軍ノ設備ノタメニ即チ此金貨制度ヲ危クスル正貨ヲ外國ニ餘計輸出セシメテ、終ニ是マデハ正金若クハ公債等ニ依ツテ外資ヲ我國ニ入レタガ、以後ニ於テハ何シモナクナツテ、終ニ我國ノ紙幣ハ不換紙幣ニ陷ルト云フ現象ヲ來サナイデモゴザイマセヌ、現ニ臺灣ニ於ケル三千万圓、最モ今日ノ形勢ノ上ニ於テ設備缺クベカラザル京釜鐵道ノ如キコトヲ、此際ニ爲シタナラバ、我國ノ公債ヲ募ツテ之ヲ支辨スルコト云フトキ、其內確ニ三分ノ一以上十分ノ四位ハ外國ニ向ツテ正貨ガ輸出スル、ソレ故ニ總テノ設備ノ上ニ附イテ、成ルベク今日ハ恰モ飢饉ノトキニ美食ヲ爲サナイト云フ如キ有様ヲ以テ、殊ニ陸軍ノ豫算ニ附イテハ私共之ニ反對シ、之ヲシテ成立セシメズ、即チ政府ニ向ツテ一ツノ反省ヲ求メナケレバナラヌ、已ムヲ得ザル次第デアリマス、今一ツ、是デ御シマヒデアアルガ、國民ノ現在ノ有様ハドウデアアルカト申シタナラバ、アナタ方御騷キニナルト二度ヅ、言ハナケレバナラヌカラ長クナル、私ハ何時間デモ申シマス、斯ノ如ク無駄ナル費用ヲ集メテ、果シテ我國ノ經濟ノ完キヲ得ルヤ否ヤト云フコトハ、申スマデモナキコトデアアルガ、是ニ附イテ最モ諸君ト共ニ考ヘナケレバナラヌノハ、是等ノ所謂重稅ヲ負フ所ノ國民ノ有様デゴザイマス、例ヲ申シタナラバ、今ヤ條約改正ハ實施サレ、既ニ内地雜居ノ曉ニ至ツタ今日デアアルガタメニ、宜シク教育ヲ普及シテ是等ノ外國人ニ、我國民ガ一步モ輪サレザルガタメニ、若ハ彼等ノ奴隸ト爲サシメシメシメシメニ、教育ヲ完備シナケレバナラヌガ、我國ノ現狀ハドウデアアルカト云フト、大阪ニ行ツテ見ルト最モ能ク分ルト思フ、凡ソ稅ト云フモノハ如何ナル程度ニ於テ有害ナリヤト申シタナラバ、所謂貧富ノ人ヲシテ同ク之ヲ納メシムル、所謂人頭稅ニ均シキ如キモノハ、決シテ我國ノ經濟上ニ於テ許スベカラザルコトデゴザイマス、官ニ是我國ノミナラズ、世界一般此針路ヲ取ツテ居ルガ、大阪ニ行ツテ見ルト如何ナルコトガアルカト云フト、十歲以下ノ職工ガアル、嘗テ農商務省ガ工場條例ヲ調ベタトキニ、其草案ヲ見タガ、如何ナルコトガ書イテアルカト云フト、職工ト云フモノハ十歲以下ハサセナイト云フノニ、大阪ニ限ツテ所謂「マツチ」ノ函ヲ貼ル、十歲以下ノ職工ガアルト云フコトデゴザイマス、此職工ハ如何ナル稅ヲ負フカト云フト現ニ三稅ノ一ツタル醬油稅ハ酒ト違ヒ、砂糖ト違ヒ、到ル處總テノ人々ノ頭ニ掛ツテ居ルガ、即チ十歲以下ノ職工ハ自ラ教育ヲ爲スコトガ出來ナイノミナラズ、所謂手仕事ヲシテ自分ノ親ノ生活ヲ足サナケレバナラヌト云フ、此小兒ニ向ツテ此醬油稅ヲ課シテ居ルデハゴザイマセヌカ、現ニ此議事堂ト云ヒ其他ノ諸官省ニ往ツテ見ルト、此給仕ト云フモノデ、矢張俸給ヲ受ケテ居ル者ガアルガ、是

ガ十五歳以下ノ者デモ一ツノ税ヲ負ウテ居ルノデハゴザイマセヌカ、我國ノ人智ノ開發、條約改正ノ實施ニ依ッテ、外ニ向ッテ我國民ヲ移シ、内ニ於テハ外資ヲ輸入シテ、我國ノ總テノ事業ヲ盛ナラシメントセバ、先ヅ以テ豫算ヲ適當ニ分配シ、所謂用フベカラザルモノヲ用フルト云フコトデアッタナラバ、殆ド我國民ハ租税ノタメニ夙薪膏膽ト云フコトハ、農民ノミニ與ヘテ其他ノ人ニ獨リ陸軍省ノミデナイ——陸軍其者ニ附イテモ兵ノ大ナルニ眠ルト云フニ均シキモノデアリマス、斯様ニ考ヘレバ我國ノ經濟ノ基礎ヲ亂サランガタメニ、我國ニ於テ適當ナル歳出ヲ議セシメンガタメ、我國民ヲシテ斯ル重税ヲ負ハセシメザランガタメニ、即チ其結果我國ノ教育ヲ繁盛ナラシメンガタメニ、普及セシメンガタメニ、是非共陸軍ノ豫算ノ如キ、即チ無用ナ兵數ヲ貯ヘテ而モ有事ノ時ニ於テ、一向役ヲ爲サナイ他ノ設備ガ出來ナケレバ、陸軍ノ人ガ幾ラエラクテモ、岸ノコナチヲ消防スルト同ジテ、内地デ晩ンデ居ルト云フニ過ギナイ、斯様ノ實際デゴザイマスガ故ニ、願クハ諸君ハ私ノ發議ニ同意セラレテ、此案ヲ否決シテ、更ニ政府ヲシテ適當ノ考ヲ起サシムルコトヲ望ムガタメニ、茲ニ發言ヲ致スノデゴザイマス

〔政府委員陸軍次官中村雄次郎君演壇ニ登ル〕

○政府委員〔中村雄次郎君〕 唯今高木君カラ軍備ノコトニ附イテ、彼此御説ガゴザイマセタガ、是ハ此説ニ附イテ私ガ別ニ反駁スル必要モゴザイマセヌ、諸君ハ御分リニナッテ居ルコト、思ヒマス、併シ茲ニ一言申サナケネバナラヌノハ、高木君ハ昨年ノ演習ノトキニ於テ、即チ兵ガ云々ト云フコトデ不都合ノコトガアッテ云々ト云フコトデアアルガ、昨年ノ演習ト云フノハ何レノ演習デアアルカ、即チ京阪ニ於テ行レタル大演習ト思ヒマスガ、此大演習ニ向ッテ其結果ガ如何デアッタトカ、不都合ガアッタトカ云フノハ、何ニ依ッテ言ル、ノデアアルカ、實ニ其結果ハ後來ノ進歩ヲ圖ルニ甚ダ必要ナル演習ニシテ、又昨年ノハ立派ニ出來テ居ル、其演習ハ、陛下ノ行レタル大演習デアアル、其演習ニ向ッテ失禮ナガラ素人タル高木君ガ不都合ナコトガアッタト云フコトヲ御認メニナルハ甚ダ覺束ナイデ、不都合デアッタト云フコトデアアルカラ、一言是ダケ御斷リヲシテ置キマス

○高木正年君〔百二十八番〕 中村君ヨリ演習ノコトニ附イテ御話ガアリマシタガ、總テノ通信、總テノ新聞ヲ見レバ、兵ガ多クテ是マデノ演習ニ比シテ氣配ノナカッタト云フコトノ、公平ノ通信ガシテアルノデアリマス、陸軍ノコトハ陸軍ノ人ガ宜イト思ヘバ宜イカ知ラヌガ、吾ニ於テハ決シテサウ信ジテハ居ラヌノデアリマス

○議長〔片岡健吉君〕 採決致シマス、此第二款ノ軍事費ノ第十項糧食費、是ニハ豫算委員ノ修正説ガアリマスカラ、豫算委員ノ修正説ニ附イテ採決致シマス、此豫算委員ノ修正説ニ同意ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 多數

○議長〔片岡健吉君〕 多數ト認メマス、豫算委員ノ修正通決シマス、他ハ原案ニ就イテ採決致シマス、原案ニ同意ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 多數
○議長〔片岡健吉君〕 多數ト認メマス、原案ノ通決シマス
第三款以下陸軍省ノ全部ヲ議題ニ供シマス

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長〔片岡健吉君〕 是ニハ豫算委員會ノ修正説モアリマセヌカラ、御異議ノナイモノト認メマス

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長〔片岡健吉君〕 原案通決シマス、陸軍省ノ合計ハ今修正ノ結果豫算委員ノ修正説デ御異議ノナイモノト認メマス、海軍省所管ノ第一款全部ヲ議題ニ供シマス

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長〔片岡健吉君〕 是モ御異議ノナイモノト認メテ原案通決シマス、次ハ第二款軍事費

〔大野龜三郎君演壇ニ登ル〕

○大野龜三郎君〔二百十七番〕 私ハ此第二款ノ豫算委員會ノ修正ニ反對ヲ致シマシテ、詰リ原案ヲ贊成スル者デゴザイマス、先刻豫算委員長ガ報道致サレマシタ如ク、此第二款ノ十七項即チ艦費ノ中ニ於キマシテ、十一万五千五百四十一圓九十錢ヲ減額スルコトニ豫算委員會デハナッテ居リマスノデ、ソレヲ委シク申シマスルト、此原案ニ於キマシテハ、和炭ノ單價ガ九圓五十錢ニナッテ居リマスノデ、此九圓五十錢ト云フモノハ時價ニ對シテ高イカラ、五十錢減額スル、其減額致シマシタ金高ガ二万三千二百七十二圓五十錢ト云フノデゴザイマス、ソレカラ原案ニ於キマシテハ、和炭炭ヲ五万九千九百七十八噸買入レルコトニナッテ居リマス、然ルニ豫算委員會ニ於キマシテハ、今日ノ實地ニ於テ是ダケノ和炭炭ヲ買フコトハ到底出來ナイ、故ニ二万五千噸ダケ和炭炭ヲ買ウテ其他ノ二万六千餘噸ト云フモノハ、普通炭ヲ用フルト云フコトニ致シマシテ、其タメニ減シマシタル所ノ金額ガ六万二千四百九圓四十錢、斯ウ云フコトニナッテ居リマス、ソレカラ今一ツハ新原ニ於テノ採炭費ガ、原案ニ於キマシテハ七圓十八錢五厘トナッテ居リマス、所ガ此採炭費ハ多キニ過ルカラ、七圓十八錢五厘トアリマスノヲ五圓ト修正スル、其タメニ金額ノ減シマスルノガ二万六千二百二十圓、此三ツノ減額ノタメニ唯今申シマスル如ク、艦費ノ總額カラ十一万五千四百四十一圓九十錢ト云フ金額ヲ減スルト云フコトニ、豫算委員會デハナッテ居ルノデゴザイマス、然ルニ私ガ先日來當局者竝ニ其他ニ就キマシテ能ク調べマシタル所ニ依リマスルト、現ニ今日ノ實地ニ於キマシテモ、門司渡シニ致シマシテ海軍デ使ヒマス如キ善良ナル石炭ニ至リマシテハ、七圓三十錢カラ七圓五十錢位ダト申スコトデゴザイマス、殊ニ唐津炭ノ如キニ至リマシテハ、ソレヨリハ一層高イ様子デゴザイマス、而シテ諸君御承知ノ如ク、此海軍ノ石炭ト申シマスルノハ、横須賀、吳、佐世保、或ハ舞鶴邊デ購買ヲ致シマスノデゴザイマスカラ、其產地カラ或ハ門司アタリカラ其購買致シマスル所マデノ運賃ト云フモノガ掛

ルノデゴザイマス、其運賃ト申シマスルノガ、庫積費用マデ入レマシテ、門司アメリカラ横須賀マデ三圓六十錢位ハ掛ルト云フコトデゴザイマス、其他吳アタリニ持テ参リマスノニモ二圓二十錢位掛ルト云フコトデゴザイマス、サウシテ見マスレバ九圓五十錢トシテ置キマシテモ、ソレナニ高クナルマイト思フノデゴザイマス、然ルニ之ヲ強テ九圓ト減額シテ置キマシタナラバ、海軍省ノ當局者ニ於キマシテハ、勢粗惡ナル——比較的粗惡ナル石炭ヲ買フヨリ外ハナイノデ、サウ致シマシタ時分ニハ艦ノ汽罐モソレガタメニ痛ミガ多クナリマシテ、詰リ汽罐ノ保存年限ト云フモノモ短縮スルト云フ都合デゴザイマス、且ツ又航海力モ減ズルト云フコトニナルダラウト私ハ考ヘマス、ソレカラ第二ノ和煉炭ハ、今日ノ實地ニ於テ二万五千噸以上ハ買フコトガ出来ナイ、斯フ云ウ委員會ニ於テ意見デゴザイマシタガ、是モ實地ヲ能ク聽キマスルノニ、成ル程今日ノ現狀カラ申シマスルト、此煉炭ヲ製造致シマスルノハ天草ノ炭業會社ガ重ナルモノデ、現ニ海軍省ガ買ヒマスノハ此會社ノ製造品ヲ買フサウデゴザイマスカラ、今日ノ現狀カラ申シマスルト、豫算委員會デ議論ガアリマシタ通、二万五千噸位ヨリ買フコトガ出来ナイ、併ナガラ私ノ聞ク所ニ依リマスルト、此天草ノ炭業會社ハ今回佛國カラ善良ナル機械ヲ買入レマシテ、目下据附中デアルサウデアリマス、故ニ此据附モ必ズ本年度中ニハ据附カル、ト云フコトデ、此機械ガ据附ニナリサヘスレバ、少クモ一日ニ二百噸以上ノ煉炭ガ出来ル都合サウデゴザイマス、サウスレバ一年之ヲ製造スル高ヲ合セマスレバ、七万餘噸ノ煉炭ガ出来ル都合デゴザイマス、カラ、貳万五千噸ヨリ買ヘナイト云フコトハ決シテナイノデゴザイマス、然ルニ實地ニ於テモ買フコトモ出来ルノデゴザイマス、若シ普通炭ヲ使用スルコトニ致シマシタナラバ、豫テ諸君御承知ノ通、今日ノ新式ノ軍艦竝ニ水雷艇ナドニ於キマシテハ、皆此煉炭ヲ使用スルコトニナツテ居リマス、ソレニ不適當ナル通常ノ普通炭ヲ用フルコトニ致シマシタナラバ、矢張機械損傷ヲ早ク致シマシテ、結局精良ナル機械ノ保存ヲ短クスルト云フコトニナリマシテ、是モ不經濟ノコト、私ハ信ジマスノデ、ソレカラ今一ツハ新原ノ採炭費ガ餘計デアル、是モ段々承リマス所ニ依リマスレバ、此七圓十八錢五厘ト云フ内ニ、新原カラ致シマシテ千代村ト申シマス炭庫ノアル所マデノ間ノ運送賃ガ二圓掛ルサウデアリマス、故ニ此二圓ヲ引去リマスレバ、實際ノ採炭費ト云フノハ五圓バカリニナリマスノデ、非常ナ多額トハ言レマス、マイト思フノデゴザイマス、併ナガラ能ク實地經驗家ノ話ヲ聞キマスルニ、是ハ餘リ少イ譯デハナイイサウデス、現ニ此事ニ附キマシテハ海軍ノ當局者モ決シテ是ハ安クハナイト云フコトデアル、併ナガラ是ハ有事ノ日ノタメニ採掘シテ置クノデゴザイマシテ、平素ノタメニヤルノデハナイノデ、是モ事アルトキノタメニハ少ノ不經濟ハ忍ンデモ置カナケレバナラヌト考ヘルノデゴザイマス、以上申シマスル如ク豫算委員會ニ於テ減額シタル如ク、強テ決議ヲ致シテ置キマスレバ、詰リ船ノ航海カラ減シ汽罐ノ損傷ヲ早クシ、且ツ事アル時ノ準備ヲ缺クト云フ都合デゴザイマスカラ、此減額ハ私ハ賛成スルコトガ

出来ナイノデゴザイマス、併ナガラ若シ此金額ガ非常ニ多額ナモノデアラナラバ、又一考ヲ費サナケレバナラヌコトデゴザイマスガ、其金額ハ唯今申シマスル如ク、僅ニ十一萬餘圓デゴザイマス、僅カ十一萬餘圓ノ金額ヲ減ラスガタメニ、唯今申シマスルガ如キ三ツノ不利益ヲ來スト申シマスルノハ——省ミナイト申シマスルノハ、經濟上カラ申シマシテモ亦宇内今日ノ形勢上カラ見マシテモ、實ニ取ルコトノ出来ヌ議論ト私ハ考ヘマス、故ニ私ハ豫算委員會決議ニハ反對致シマシテ、原案ニ同意スル考デゴザイマスカラ、何卒諸君モ原案ニ御同意アラシコトヲ希望致シマス

(賛成々々)ト呼フモノアリ

○星亨君(九十一番) 此席ヨリ述ベマス、私ハ委員ノ修正ニ賛成スル者デゴザイマス、大野君ノ仰シヤッタコトハ一理ナキニアラズト考ヘマスガ、併ナガラ委員會ノ多數ノ人ガ調ベテ之ヲ修正スルガ宜シイト云フコトヲ極メルノニ、此處デ又大野君一個ノ御説ヲ承ツテ、之ヲ復活スルト云フコトハ其當ヲ得ナイト考ヘマス、故ニ即チ多數委員會諸君ノ査定ニ任セルコトヲ相當ト私ハ考ヘマス、故ニ委員會ノ修正ヲ賛成シ若シ又不足ガアレバ其時ハ要求スルコトガ出来ルノデゴザイマスルカラ、強テ大野君デモ其説ヲ主張セラレルトハ思ヒマセヌカラ、即チ私ハ委員會ノ修正説ニ賛成ヲ致ス者デアリマス

(其通)ト呼フ者アリ(採決々々)ノ聲起ル

○佐々友房君(百四十二番) 私ハ大野君ノ説ヲ賛成スル者デゴザイマス

(政府委員海軍省經理局長海軍主計總監村上敬次郎君演壇ニ登ル)

○政府委員(村上敬次郎君) 海軍省ノ軍事費第十七項艦費ノ削減ニ附イテ、原案ヲ維持スルタメニ一言述べタウゴザイマス、第一此削減ノ理由ヲ承リマスルニ、九圓五十錢ハ高イ、高イカラ九圓ニ減ズルト云フノガ第一デア、又煉炭ハ到底二万五千噸ノ外ハ製造スルコトガ出来ヌト思考スルト云フノデア、第三新原炭ガ高價ニ過ギルト云フノデア、然ルニ九圓五十錢ト積算シタルハ既往三年度ノ實費ヲ比較シテ、尙ホソレニ節約ヲ加ヘタノデ、而シテ現今ノ相場ヲ見マシテモ唐津竝ニ金田豐國等ノ炭ハ之ヲ平均ニ三鎮守府ニ配備スルトスルモ、十一圓或ハ十圓餘ト爲ルノデゴザイマス、然レドモ北海道炭ヲ横須賀ニ配備スルトカ、其他ノ方法ヲ以テ九圓五十錢ナレバ處辨シ得ルト云フ見込デアリマス、ケレドモ九圓ト致シマシテハ、到底艦船ニ於テ行動ヲ完ウスルト云フコトハ出来ヌカト思ヒマス、尤モ相場ノコトデアリマスカラ、其高低ハ測リ難イモノデアリマスケレドモ、此石炭費ハ補充費ニ屬スルモノデナイノデアリマスカラ……補充費ナレバ豫備金ノ補充ヲ要スルコトモ出来マスケレドモ、補充費ニ屬セザルモノデアリマスカラ、萬一此九圓ニテ購求スルコトガ出来ヌト云フ場合ニ於テハ、艦船ノ勢力ヲ維持スルニ於テ非常ニ不便ヲ來スコトガアルノデアリマス、次ニ煉炭ノコトデアリマスガ、此煉炭ハ新式軍艦水雷艇等ノ水管式汽罐ヲ備ヘテ居ル所ノモノニ使フノデアリマシテ、三十三年度ハ五萬餘噸ヲ實際ニ必要トスル譯デアリマス、而シテ此水管式汽罐ニ煉炭ヲ用フルト云フコトハ、軍事上ニモ最モ關係

ヲ及スコトデアリマシテ、之ニ使用シナケレバナラヌト云フコトニナッテ居リマスルデ、此上敷ヲ減ズルト云フコトハ此水管式汽罐ノ保存上ニ關係ヲ及スコトデアアルデアリマス、其製造力ニ於テハ二万五千噸ノ外ハ出來ヌト云フコトデアリマスケレドモ、今日島原ニ於テ造ル所ハ或ハ一晝夜五十噸内外ホカ出來マセヌケレドモ、是カラ長崎ノ深堀ニ移シマシテ、一晝夜二百噸以上ノ製造ヲ爲シ得ベキ機械ガ到著シテ、本年度内ニハ其据附ヲ了ル積デアリマス、又佛蘭西ヨリ相當ノ技師ヲ聘シテ、一晝夜二百噸、一箇年七萬餘噸ノ製造ヲ爲シ得ルコト云フコトデアリマスカラ、不慮ノ事ガ起ラザル以上ハ、五萬餘噸ヲ製造スルコトハ容易ニ出來ルデアリマス、又新原炭ニ附イテハ高價ニ過ギルト云フコトデアリマスガ、元來此新原炭ハ軍事上必要ノ豫備炭デアリマシテ、營業的利益のニ探掘スルモノデナイ、故ニソレカラ比較シテハ幾ラカ高價ト云フコトハ免レナイコトデアラウト思ヒマス、而シテ其高價ナルノハ新原ヨリ千代村マデノ運搬費ガ、一噸ニ附イテ二圓十錢モ掛リマスカラ、其高價ヲ致シマスノデスケレドモ、之ヲ普通ノ石炭費、即チ唯今申シタ所ノ唐津ニ金田邊等ノ炭ニ考ヘマシテモ、唐津ハ唐津渡シテ八圓、其他豐筑ノ炭ハ門司渡シテ七圓ト云フ今日ノ相場ト致シマスレバ、之ヲ七圓十八錢ト計算シタノハ決シテ不當デナイと思フ、要スルニ此上七圓十八錢ヲ減ズルコトニナッテハ、軍備上必要ノ炭田ヲ維持スルコトガ出來ヌト云フコトニナリマシテ、之ヲ維持スルノ必要ハ、日清戰爭ノ役ニ照シテモ最モ必要ヲ感シテ居ル事實デアリマス、此上減ズレバ此炭量ヲ減ズルヨリ外致方ガナイ其炭量ヲ減ズルト云フコトハ、即チ艦船ノ行動ヲ完ウセシムルタメニ配付スル石炭ヲ減ズルト云フコトニナリ、是レ亦到底行レヌコトデアリマスカラ、其旨御承知ヲ願ヒタイ、要スルニ此石炭費ノ削減ハ勢力ノ消長ニモ關スル問題デアリマスカラ、成ルベク原案ニ御賛成ヲ願ヒマス

〔採決〕ト呼フ者アリ

○藤金作君(百六十九番) チョット一言述べマス

○議長(片岡健吉君) 何ヲ述べルンデス

○藤金作君(百六十九番) 今ノ大野君ノ御説ト政府委員ノ説ニ對シテ、簡短ニ述べテ置カウト思フ

○議長(片岡健吉君) 質問デスカ、何デスカ

○藤金作君(百六十九番) 修正案ヲ賛成スル、修正案ヲ賛成スルノデスガ、ソレニ附イテ細カニ述べマスレバ、多クノ議論モアリマスガ、要スルニ大野君又政府委員ハ石炭採掘ノ如何ナルモノカラ御承知ノナイコトデアアル、海軍勢力ノ消長ニ關スルコトハ、吾々深ク注意スルノデアリマス、而シテ此原案

石炭ハ如何ナルコトヲシテ掘ルモノカト云フコトヲ知ラヌ者ガ、詰リ大野君ノ御演説ノ如キハ政府委員ノ代理御辯明デアラウトハ存ジマスガ、敢テ之ニ感動セラレタ方ハアルマイト思ヒマス、私ハ一々擧ゲテ論ズレバ、海軍ニ大ニ修正スル目的ハアリマスケレドモ、今日ハ先ヅ此問題ニ付イテハ長クハ論ジナイ、ソレダケ申シテ置キマス

○議長(片岡健吉君) 採決致シマス、第二款ノ軍事費ノ中第十七項艦營費ノ所ニハ委員會ノ修正ガアリマスカラ、委員會ノ修正説ニ附イテ採決致シマス、委員會ノ修正ニ同意ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 多數

○議長(片岡健吉君) 多數ト認メマス、委員會ノ修正通ニ決シマシタ、其他ハ原案ニ御異議アリマセヌカ

〔異議ナシ異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(片岡健吉君) 海軍省ノ所管ノ總計ノ所ハ、修正ノ結果トシテ委員會ノ修正通デ御異議ハアリマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(片岡健吉君) 御異議ガナケレバ其通決シマス——次ハ司法省ノ所管全部ヲ議題ニ供シマス

〔異議ナシ異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(片岡健吉君) 是ハ委員會ノ修正モアリマセヌカラ、御異議ノナイコト、認メマス、原案通ニ決シマス——次ハ文部省所管全部ヲ議題ニ供シマス

〔異議ナシ異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(片岡健吉君) 是モ委員會ノ修正ガアリマセヌカラ、御異議ノナイコト、認メテ宜ウゴザイマス

〔異議ナシ異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(片岡健吉君) ソレデハ原案ノ通ニ決シマス——次ハ農商務省ノ所管ヲ議題ニ供シマス

〔異議ナシ異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(片岡健吉君) 是モ委員會ノ修正モアリマセヌカラ御異議ノナイコト認メテ宜ウゴザイマス

〔宜シイ〕ト呼フ者アリ

○議長(片岡健吉君) ソレデハ原案通ニ決シマス——次ハ逓信省ノ所管ヲ議題ニ供シマス

〔異議ナシ異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(片岡健吉君) 是モ委員會ノ修正ガアリマセヌカラ、原案ニ御異議ノナイモノト認メテ宜ウゴザイマス

〔異議ナシ異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(片岡健吉君) ソレデハ原案通決シマス、歳出經常部ノ合計ハ段々修正ガアリマシタガ、此合計ハ議長ニ御任セ下サイマセウカ

〔異議ナシ異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(片岡健吉君) ソレデハ其通ニ決シマス、歳出臨時部ノ全部ヲ議題ニ供シマス

〔異議ナシ異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○恆松隆慶君(百四十二番) 全部デスナ

○議長(片岡健吉君) 恆松隆慶君ハ質問ガアリマス

○恆松隆慶君(百四十三番) 私ハ長クアリマセヌガチヨット……

(恆松隆慶君演壇ニ登ル)

○恆松隆慶君(百四十三番) 私ハ内務省ノ臨時部ノ第八款中第一項ノ北海道治水豫防調査會へ、一万圓ト云フモノノ項目ニ附イテ、政府委員ニ質問致スノデアリマス、是ハ拓殖事業ニ最モ關係スルモノデゴザイマシテ、ソコデ十分質問ヲ要サナケレバナラヌコトデアル、此第八款中ノ北海道治水豫防調査費ノ項目ニ附キマシテ、是ハ石狩川治水豫防調査費デゴザイマス、是ハ此年度ニ新設ノ項目ニシテ、僅ニ一万圓デアルノデゴザイマスガ、此北海道治水調査ハ拓殖上大關係ヲ有スルモノデアリマス、曩ニ豫算分科會ニ於キマシテ、政府委員ニ質問ヲ致シマシタノニ、凡ソ六七年ノ繼續事業トシテ著々進歩ヲ進メル積デアルト云フコトノ方針ヲ聞キマシタ、ソコデ本員ハ熟ク其後考ヘマスルニ、將來移住民ヲ獎勵スルノ點ニ於キマシテ、此問題ハ偉大ノ關係ヲ有スルモノデアルト察シマスルニ、既ニ昨年以來水害ニ附キマシテハ、種々保護ヲ與ヘテアツタニモ拘ラズ、漸ク移住サレタ人民ガ意外ナル水害ヲ被リマシテ、殊ニ其危險ナル地方ハ治水ノ未タ完全セザルガタメニ、往々内地ニ歸復スルト云フヤウナ傾ガアルノミナラズ、本年ノ上半年ノ移住者ノ數ヲ前年アメリニ比シマシテモ、非常ニ減ジテ居リマスル、此後移住民ヲ獎勵スル途ガ却テ、移住民ヲシテ遂ニ退歩セシムルノ道ト爲リハセヌカト云フ考ガアルノデアリマス、幸ニ移シタ者ガ意外ナル災難ニ遭ウテ、却テ後ト戻リスルヤウナコトニナルト、寧ロ移住者ノ意思ヲ挫折セシムルコトニナリマス、故ニ是ニハ治水策ト云フモノヲ最モ緊急ニ致シマシテ、國家急務中ノ最モ急務デアルト信ジマスルデ、拓殖事業ノ進歩ノ第一番ニ是ハ重ナルコトト思ヒマスル、固ヨリ治水ノ業タルヤ水準測量、永久測點トカ、水位觀測トカ、其他水源ニ於ケル氣象觀測トカ、種々ノ調査ヲ要スルコトガアルノデアリマスカラ、一朝一夕ニハ是ハ能ク盡スコトハ出來ナイト考ヘマスケレドモ、移住民ノ目下ノ狀態ト、將來拓殖移民ノ獎勵上ニ於キマシテ、六七年ノ星霜ヲ要セネバ、此調査ガ出來ナイト云フノハ、餘リ政府ノ氣長イ考デハナイカト云フ大ニ感シヲ起スノデアリマス、ソコデ、故ニ政府ハ務テ速ニ此完成ヲスルコトノ急務ナリト信ジマス、要スルニ一万圓位ノ金ナラバ繼續費トシテ、六七箇年モソレハ掛ルデモアリマセウケレドモ、此場合一万圓デハ金ガ少イ、二萬圓若ハ一万圓ニ致シタコトナレバ、此調査ノ期限ガ短縮セラル、コトガ出來ルヤ否ヤ、是非ハ臨時豫算デモ求メテデモ、此緊急問題ニ對シテハ決シテ一万二萬ノ金ヲ吝ムベキコトハナイト考ヘルノデ、此一万圓デハ年々六七箇年モ掛ラナケレバナラヌケレドモ、此調査ニ附イテハ金ヲ少シ増セバ六七箇年掛ルモノガ、三年間掛テ遂ダラレルト云フコトナラバ、北海道ノ前途ニ附キマシテ大關係スル所ノ問題デアリマス、益ニ北海道ノ拓殖ヲ圖ルコトヲ盛ニ致シマスルノニハ、此調査ガ必要ノモノト認メマスルデ、政府ニ於キマシテハ此場合ハ一万圓ノ金ハ増サレマセヌケレドモ、是ヲ相當トスレバ追加豫算ノ要求スル途モアリマスルデ、金額ヲ増セバ六七年ノ長キ星霜ヲ

要セニヤナラヌモノガ、三箇年間位デモ調査ガ出來ル所ノ便利ガ附クヤ否ヤト云フコトヲ、私ハ此場合政府委員ニ質問ヲ致スノデアリマス

(政府委員内務次官小松原英太郎君演壇ニ登ル)

○政府委員(小松原英太郎君) 恆松君ノ御質問ニ御答ヲ致シマスガ、本年ノ豫算ニ北海道治水調査費ヲ一万圓提出致シマシタノハ、色々豫算編成ノ際ニ財政ノ都合ガゴザイマシテ、一万圓豫算ニ出シタノデアリマス、若シ金額ヲ増シテ急ニ調査ヲスルト云フコトナレバ、果シテ三年トカ四年トカ出來得ルモノデアアルカドウカト云フ御尋ニ對シマシテハ、相當ニ金額ヲ増シマシタナラバ、三箇年位ニハ調査ヲ仕遂ゲルコトガ出來ルデアラウト見込ンテ居リマス

(「採決」ト呼フ者アリ)

○議長(片岡健吉君) 採決ヲ致シマス、此歳出臨時部ニハ豫算委員會ノ修正モアリマセヌガ、全部御異議ガナイコト、認メテ宜シウゴザイマスカ

(「異議ナシ」異議ナシト呼フ者アリ)

○議長(片岡健吉君) ソレデハ原案ノ通り決シマス、此歳出總計ノ金高デアリマスルガ、是ニハ修正モアリマスカラ、此整理ヲ議長ニ御任セ下サイマセウカ

(「異議ナシ」異議ナシト呼フ者アリ)

○議長(片岡健吉君) 然ラバ其通——次ハ豫算ノ乙號全部ヲ議題ニ供シマス

(「異議ナシ」異議ナシト呼フ者アリ)

○議長(片岡健吉君) 乙號全部ニ附イテモ御異議ガナイト認メマスガ、御異議ガナケレバ原案ノ通決シマス

(「異議ナシ」異議ナシト呼フ者アリ)

○議長(片岡健吉君) ソレデハ次ハ丙號全部ヲ議題ニ供シマス

(「異議ナシ」異議ナシト呼フ者アリ)

○議長(片岡健吉君) 是モ御異議ガナケレバ原案ノ通決シマス

(「異議ナシ」異議ナシト呼フ者アリ)

○議長(片岡健吉君) 是デ歳出ノ全部ハ決定致シマシタカラ、歳入經常部ノ全部ヲ議題ニ供シマス

(「異議ナシ」異議ナシト呼フ者アリ)

○議長(片岡健吉君) 歳入經常部ニ附イテ御異議ガナケレバ、原案ノ通決シマス

(「異議ナシ」異議ナシト呼フ者アリ)

○議長(片岡健吉君) ソレデハ原案ノ通決シマス、次ハ歳入臨時部ヲ議題ニ供シマス

(「異議ナシ」異議ナシト呼フ者アリ)

○議長(片岡健吉君) 是モ御異議ガナケレバ、原案ノ通決シマス、歳入ノ總計ハ今ノ決議ノ通原案ニ、御異議ゴザイマセヌカ

(「異議ナシ」異議ナシト呼フ者アリ)

○議長(片岡健吉君) 御異議ガナケレバ其通決シマス、豫算ノ第一條第二條第三條第四條ヲ議題ニ供シマス

(「異議ナシ異議ナシ」ノ聲起ル)

○議長(片岡健吉君) 歳入ノ方ハ原案ノ通、歳出ノ方ハ今議長ニ整理ヲ御任セニナツタ金額デアリマス、他ハ原案ノ通デ御異議アリマセヌカ

(「異議ナシ異議ナシ」ノ聲起ル)

○議長(片岡健吉君) 御異議ガナケレバ、其通決シマス、是デ歳入歳出總豫算ハ決定ヲ致シマシタ、此次ハ明治三十三年度特別會計歳入歳出豫算全部ヲ議題ニ供シマス

(「異議ナシ異議ナシ」ノ聲起ル)

○議長(片岡健吉君) 本案ニ附イテハ御異議アリマセヌカ

(「異議ナシ異議ナシ」ノ聲起ル)

○議長(片岡健吉君) 御異議ガナケレバ原案ノ通決シマス、次ハ豫算外國庫ノ負擔トナルベキ契約ヲナスヲ要スルモノ、全部ヲ議題ニ供シマス

(「異議ナシ異議ナシ」ノ聲起ル)

○議長(片岡健吉君) 全部御異議ナケレバ原案ノ通決シマス

○菅原傳君(百九十番) 議長

○議長(片岡健吉君) 百九十番何デスカ

○議長(片岡健吉君) 此際私ハ一ノ決議案ヲ提出致シマス

○議長(片岡健吉君) ドウ云フ決議案デス

○菅原傳君(百九十番) 日程ノ變更ヲ求メマシテ、茲ニ緊急ノ決議案ヲ出サウト思ヒマス

○議長(片岡健吉君) 菅原君ハ決議案ヲ提出シテ、議事日程ノ變更ヲ求ムルノデスカ、其決議案ハドウ云フ決議案デス

(「星亨君」アスコニ往ツテ述べタマヘ「ト呼フ」)

(「菅原傳君演壇ニ登ル」)

(「早クヤリタマヘ」ヤラナケレバ僕ガヤル「ト呼フ者アリ」)

○菅原傳君(百九十番) 諸君、今決議案ヲ茲ニ朗讀シテ、ソレカラ趣意ヲ申述べマス

尾崎行雄君ノ演說中ニ我等同志議員ハ豫算全部ニ反對スト揚言シタルハ皇室ニ對シ不穩當ナル言辭ニシテ取消サシムベキモノト認ム因ツテ之ヲ決議ス

決議案

尾崎行雄君ノ演說中ニ我等同志議員ハ豫算全部ニ反對スト揚言シタルハ皇室ニ對シ不穩當ナル言辭ニシテ取消サシムベキモノト認ム因ツテ之ヲ決議ス

(「拍手起ル」)

○議長(片岡健吉君) 是ハ豫算ニ附屬シテ居ル一種ノ決議デアリマスカラ、議事日程ノ變更ハ要シナイモノト議長ハ認メマス、賛成ガアルナラバ、議場ノ問題ト致シマス

(「賛成ヤ々」ノ聲起ル)

○菅原傳君(百九十番) ソレナラバ議事日程變更ナシニ直チニ述べマス、尾崎君ハ豫算問題ニ附キマシテ申述べラレマシタガ、其申述べタ所ノモノヲ今筆記ヨリシテ探ツテ參リマシタガ、今其全部ヲ讀ムデマス

「此場合ニ於テ一言致シテ置カザルベカラズ唯今ノ動議ハ少數ニテ否決セラレタル以上ハ吾々ノ同志者ハ姑息ナル修正案ニ反對スルハ勿論ノコト總テ反對、又原案ト雖モ先刻述べタル旨意ニ依ツテ此賛成スベカラザルヲ認メテ居リマスル故ニ各項ニ附イテ決議ハ促シマセヌ、成ルベク勞ハ省クガタメニ決議ハ促サヌヤウニ致サウト思ヒマスガ、ドチラニデモ反對デアルト云フコトハ豫算全部ニ通ジテ、修正ニデモ原案ニデモ反對デアルト云フダケハ御承知ヲ願ヒマス」

詰リ其旨意ハ豫算全體ニ反對デアルト云フ旨意ノ御演說デゴザイマス、然ルニ諸君ノ御承知ノ通豫算ニハ、皇室費ト云フモノモ掲載シテアルノデゴザイマス(共和黨デアアル「神宮費モアル」ト呼フ者アリ)然ルニ尾崎君ハ帝國ノ臣民トシテ、代議士トシテ、而モ憲政本黨ノ院內總理代表者トシテ誤ラレタノカ、或ハ故意ノ發言デアツタカ、此皇室ヲモ含デ居ル所ノ豫算全體ニ對シテ反對ダト云フハ、何事デゴザイマス、甚ダ不穩當ナルコト、私共ハ認ムルノデゴザイマス、故ニ是ハ不穩當ノ言辭トシテ取消サザルベカラザルモノトノ決議ヲ茲ニ致ス譯デアリマス、願フハ之ニ御賛成ヲ願ヒマス

(「賛成ヤ々拍手起ル」)

○尾崎行雄君(百二十六番) 議長——唯今ノ動議ニ附イテ聊意見ヲ述べマス

○議長(片岡健吉君) 尾崎行雄君

(「尾崎行雄君演壇ニ登ル」)

○尾崎行雄君(百二十六番) 諸君、斯ノ如キ問題ヲ起サシムル原因ト爲ツタノハ、本員ノ甚ダ悲シム所デアリマス、又之ヲ起サレタ諸君ノタメニモ、深ク其當ヲ得ザル動議ヲ起サレタト云フコトヲ悲ムノデアリマス(「ノウ」ノ聲起ル)全體此動議ヲ起サレタ諸君ハ、未ダ豫算ノ何者タルヲ御承知ナイコト、考ヘル、苟モ豫算ノ何者タルヲ知ツタナラバ、斯ノ如キ見當違ノ動議ハ起サレヌ筈ト思ヒマス、併ナガラ先刻述べタル所ノ言葉ハ、決シテ皇室費ニ反對スルトカ、神宮費ニ反對スルトカ、歳入歳出ノ豫算ニ反對スルト云フ如キ意味ハ寸毫モナイノデアリマス、故ニサウ云フ意味ノナイト云フコトハ、即チ(「ノウ」ノ聲起ル)「ト呼フ者アリ」御聽ナサイ、諸君ノ求メハ別デアルナレバ、本員ハ喜デ其意味ノナイト云フコトヲ告白致ス、又其意味ヲ發表スルガタメニ此議院ガ是非取消ヲ必要トスルナラバ、取消ヲスベキモノデナイ、斯ノ如キ間違ッタ決議ハナカラウトハ思ヒマスケレドモ、ソレモ敢テ本員ハ辭サヌデアリマス、併ナガラ唯動議其者ガ全ク憲法ニ背イテ居ル所ノ不都合ナル動議デアルト云フコトニ至ツタハ、一言明言ヲシナケレバナラヌ、私ハ諸君ガ豫算ノ何者タルヲ知ラヌト云フコトハ、外ノ事トハ違フ、憲法ニ背イテアルノデアアル、皇室費ハ豫算デアリマセヌ(「ヒヤ」ノ聲起ル)「ト呼フ者アリ」第六十六條——憲法デアリマスゾ「皇室經費ハ現在ノ定額ニ依リ毎

年國庫ヨリ之ヲ支出シ將來増額ヲ要スル場合ヲ除ク外ニ帝國議會ノ協賛ヲ要セス」ト書イテアル、協賛ヲ要セザルモノハ豫算デハナイ、豫算ニ書イテアルノハ、此辻褄ヲ合セルタメニ、唯參照ニ別項ニ掲ゲテアルダケデアツテ、決シテ議スルタメニ掲ゲタモノデハアリマセヌ(ヒヤノ)「ト呼フ者アリ」然ルニ此明文ノアルニモ拘ラズ、本員ガ豫算全部ニ反對スルト云々其言葉尻ヲ掴マヘテ、直チニ不敬呼リヲ致スト云フコトニ至テハ、當ニ諸君ノタメニ悲シムノミナラズ、當議院ノタメニ斯ノ如キ言説ノ起ルノヲ悲シムモノデアリマス(ヒヤノ)「ソウ」ノ聲起ルノウツ云フナラバ、憲法ヲ御覽ナサシ、豫算ノ何者タルヲ研究シテ後ニ御發議ヲ爲サイ、豫算ト——皇室費ハ豫算デハアリマセヌ、將來増額ヲ要スル場合ノ外ハ、一切協賛ヲ要スルモノデハアリマセヌ、況ヤ本員ガ全部ニ反對スルト申シタノハ、先刻讀上グラレタル速記録ニ於テモ明白ナルガ如ク、動議ニ基イテ反對スルノデアアル——武官君ノ動議ニ基イテ反對シタノデアアル、其動議ハ臺灣ノ經費ニ於テ削リ、陸軍本省ニ於テ削リ、一般行政費ニ於テ削ルト云フノガ、其動議デアアル、此動議ハ各項各款ニ跨ルガ故ニ、ソレニ通ズル所ノモノニ全部反對スル意味ト云フコトハ、詳シク申述ベズトモ明白ニ分テ居ル、皆デアアルニモ拘ラズデス、此等ノコトヲ顧ミズ唯揚足ヲ取ツテ、人ヲ傷クルヲ以テ能事ト致スガ如キニ至リマシテハ、實ニ私ハ諸君ノタメニ悲シムモノデアアル、若シ多數ヲ以テソレヲ押通スト云フナラバ、本員ハ喜デ此不正ナル決議、此門違ノ決議此憲法ニ違反シタル決議ノ犧牲ニナルコトヲ辭サヌノデアリマス

○星亨君(九十一番) 私ハ茲ニ於テ一言ヲ致シマス、尾崎君ハ非常ニ威張ラレタノデアアル然レドモ皇室費ハ豫算デハナイト云フコトヲ言レマシタガ、ソレハ憲法ニ協賛ヲ經ルニ及バズト云フコトガアルカラ豫算デナイ、斯ウ云フノデス、然レドモ豫算中ニ協賛ヲ經ナクテモ既ニ成立ツテ居ルモノガ幾ラモアルノデアアルカラ、豫算ハ協賛ヲ經ルト否トニ依ルベキモノデハナイト私ハ考ヘル、即チ既定歳出ノ如キモノハ既ニソレヲ削除スルコトガ出來ナイノデアアル、協賛ヲ經ナクテモ豫算デアアル、故ニ豫算ト云フモノハ總テ協賛ヲ經ルモノガ豫算デアアル、協賛ヲ經ナイモノハ豫算デハナイトハ言レマイ、現ニ豫算ノ中ニ皇室費ガアルト云フコトハ、即チ諸君ノ目前ニアル所ノ豫算ノ本ノ中ニ書イテアルノデゴザイマス、ソレニモ拘ラズ、尾崎君ハ吾ミガ言葉尻ヲ掴マヘテ、不正ナル決議ヲスルト云フニ至テハ、是レハ怪シカラヌコト、私ハ考ヘルノデアアル、即チ豫算全體ニ反對スルト云フ意味ハ、尾崎君ハ武官君ニ贊成ヲシタノデアアルカラ、武官君ノ豫算ノ一部分ノ議論ニ附イテ云ウタノデアアルト云フコトハ、是ハ能ク尾崎君ニシテ御考ナスツタラ、私ハ分ルデアラウ、否ナ、考ヘル必要ハナイ、尾崎ノ言葉ソレ自身ガ即チ豫算全體ト云フコトヲ言ウテ居ルノデアアル、然ラバ武官ノハ誠ニ僅ナル部分デアアルト云ウタラバ、全體ト一部トハ違ツテ居ルト云フコトハ、是ハ三歳ノ童子ト雖モ知ルコトデアアル、然ルニ自ラハ其言葉ヲ左右ニ致シ、吾ミガ正當ニ豫算全體ト云フコトハ、即チ豫算全體ナリト云フコトハ即チ人ノ揚足ヲ捉ヘテ、サ

ウシテ不正ノ決議ダト云フヤウナコトハ、誠ニ尾崎君ニ向ツテモ御氣ノ毒ナコト、私ハ考ヘル、實ニ怪シカラヌコトヲ言フ人ト云フノ外ハナイノデアアルカラシテ、吾ミハ餘リ尾崎君ニ對シテ御氣ノ毒デアアルガ、即チ此決議ハ正當ナルモノト考ヘル、故ニ尾崎君ガ自ラ失言ナルコトヲ茲ニ謝セラル、ト云フコトナラバ、吾ミハ固ヨリ喜デ此決議ハ取消シテモ宜シイノデアアルガ、強テ尾崎君ガ主張シテ、即チ己ノ言ツタコトハ決シテサウデナイ、取消サナイト云フコトナラバ是ハ已ムヲ得ズ吾ミハ決議通ニナルノ外ハナイト考ヘルカラ、一言申シ置キマス

○元田肇君(二百六十番) 私ハ總テ沈黙ヲ守ツテ今日マデ居リマシタガ、唯今ノ動議ハ餘程熟考シナケレバナラヌ問題デアラウト思フ、尾崎君ガ只今登ツテ頻ニ辯明ヲ努メラレマシタガ、自分ハ毛頭サウ云フ意味デナイ、若シ誤解ガアルナラバサウデナイト云フコトヲ、聽イテ貰ヒタイト云フ意味デアアルナラバ、波動モ起ラヌデアラウト思フ、併ナガラ又一面ニ於テハ全部ニト云ツタ言葉ガアルカラト云フノデ、直チニ不敬ニ近イ言葉デアアルト云フコトヲ斷定スルコトハ容易ニ爲スベキモノデモアルマイカト考ヘマス、事皇室ニ涉ルコトデゴザイマス故ニ、本日ハ此問題ヲ中止致シマシテ、更ニ吾ミ熟考ノ上ニ決定スルコトニ至ランコトヲ希望致シマスデ成ルベク斯様ノ問題ハ御互ニ正心ニ立戻ツテ苟モニモゴザイマスマイガ、黨派ノ異同ト反對トヲ以テカラニ、議場ノ問題トナルコトノナイヤウニ、進歩黨ノ御方モ能ク御考ヘニナツテ、是ハ甚ダ不穩當デアアルト云フコトナラバ、取消サル、コトニ致シ、又其他ノ者モ尾崎君ノ言辭ニシテ分ツタト云フコトナラバ、飽クマデ追窮スル必要ハナイト思ヒマス、故ニドウカ本日ハ此議ダケハ延期ヲ致シタイト思ヒマス

○原田起城君(七十四番) 私ハ唯今ノ元田君ノ說ニ贊成ヲ表スル者デアリマス、實ニ是ハ熟考ヲ要スル問題ト存ジマス

○大三輪長兵衛君(八十四番) 私モ元田君ノ說ヲ贊成致シマス

○西川宇吉郎君(二百五番) 私モ元田君ニ贊成デアリマス

○議長(片岡健吉君) 是ハ決議延期ノ動議ト認メマス、サウスルト是ハ先決デアリマス

○星亨君(九十一番) チョット元田君ニ……ナレマス、元田君ハ是ヲ何時マデ延期シヤウト云フノデスカ、ソレヲ一ツ

○元田肇君(二百六十番) 無延期デハゴザイマセヌガ、二日間モ延期サレタラバ如何デアラウカト思ヒマス、或ハ明日デモ宜シイ、今日ダケハ延期シテ戴キタイ

○議長(片岡健吉君) サウスルト元田君ハ免ニ角今日ダケハ延期サスルト云フ、時期ハ極メナクシテ……

○元田肇君(二百六十番) 左様

○議長(片岡健吉君) ソレデハ是ハ先決問題デアリマスカラ、元田君ノ動議ニ附イテ採決ヲ致シマス

(異議ナシ異議ナシト呼フ者アリ)

○議長(片岡健吉君) 御異議ハアリマセヌカ

(異議ナシ異議ナシト聲起ル)

○議長(片岡健吉君) 御異議ガナケレバ、元田君ノ動議ノ通此決議ハ今日ハ決議ヲ延スコトニ決シマス、次ハ議事日程ノ第四、鐵道船舶郵便法案第一讀會——議案ノ朗讀ハ省略致シマス

第四 鐵道船舶郵便法案(政府提出)

第一讀會

鐵道船舶郵便法案

第一條 本法ニ於テ鐵道運送業者ト稱スルハ私設鐵道條例ニ依リ鐵道ヲ以テ運送營業ヲ爲ス者ヲ謂ヒ船舶運送業者ト稱スルハ商法ニ依リ船舶ヲ以テ運送營業ヲ爲ス者ヲ謂フ

第二條 鐵道運送業者ハ郵便取扱ノ爲郵便官署ノ要求アルトキハ鐵道用地及停車場建物ノ一部ヲ供シ又ハ建物ノ建築若ハ改築ヲ爲スヘシ
前項ノ場合ニ於テ土地建物ノ使用料及建築改築ノ費用ハ郵便官署ノ之ヲ支給ス

第三條 鐵道運送業者ハ郵便官署ノ要求アルトキハ定期列車毎ニ郵便車トシテ列車定數ノ總容積ノ五分ノ一迄ハ其ノ列車ノ一部ヲ供給シ又ハ郵便官署ノ交付ニ係ル同一容積以內ノ郵便車ヲ聯結スヘシ
船舶運送業者ハ郵便官署ノ要求アルトキハ其ノ船舶ニ相當ノ郵便船室ヲ供給スヘシ

第四條 郵便車ノ構造ハ通常客車ト同一タルコトヲ要ス

第五條 郵便車又ハ郵便船室ニハ郵便物郵便取扱員及其ノ監視員ノ外搭載スルコトヲ得ス

第六條 鐵道運送業者又ハ船舶運送業者ハ郵便官署ノ要求ニ應シ郵便車又ハ郵便船室ニ郵便物ノ取扱ニ必要ナル設備及維持ヲ爲スヘシ

鐵道運送業者ハ郵便官署ノ交付ニ係ル郵便車ヲ保管スヘシ
前二項ノ場合ニ於テ設備維持及保管ニ要スル費用ハ郵便官署ノ之ヲ支給ス
第七條 鐵道運送業者ハ列車仕立驛ニ於テ指定ノ郵便車ノ外臨時容積ノ増加ヲ要シ又ハ臨時郵便車ノ聯結ヲ要スル爲其ノ列車出發時刻三十分前迄ニ郵便官署ノ要求アルトキハ他ノ郵便車ヲ聯結シ又ハ通常客車ヲ其ノ代用ニ供スヘシ

第八條 鐵道運送業者ハ郵便官署ニ於テ郵便車ニ依ラサル郵便物ノ運送ヲ要求シタルトキハ旅客列車ニ依リ運送スル貨物ト同一ノ方法ヲ以テ之ヲ運送スヘシ

第九條 鐵道運送業者列車ノ發着時刻ヲ變更スルトキハ七日以前ニ之ヲ郵便官署ニ報告スヘシ但シ天災其ノ他避クヘカラサル事故ノ爲發着時刻ノ變更ヲ決定シタルトキハ直ニ報告スヘシ

第十條 郵便車ノ使用料金ハ左ノ割合ニ依ル

三百立方尺迄	一哩毎ニ	金一錢八厘以內
五百立方尺迄	一哩毎ニ	金三錢五厘以內
七百立方尺迄	一哩毎ニ	金五錢六厘以內
千立方尺迄	一哩毎ニ	金九錢以內
千立方尺超過シタルトキハ其ノ全容積ニ對シ百立方尺迄ニ付一哩毎ニ金一錢以內		

郵便車ノ容積ハ各列車ニ於ケル郵便車總容積ヲ以テ之ヲ算定ス其ノ容積ノ算定方法ハ命令ノ定ムル所ニ依ル

郵便物ヲ旅客列車ニ依リ運送スル貨物ト同一ノ方法ヲ以テ運送セシムルトキハ其ノ運送料金ハ其ノ鐵道運送業者ノ定メタル普通貨物運賃ノ最低額ノ半額以內トス

郵便官署ヨリ郵便車ヲ交付シタル場合ニ於テ鐵道運送業者ニ支給ス可キ金額ハ命令ノ定ムル所ニ依ル

第十一條 船舶運送業者ハ船舶ニ搭載シタル郵便物ヲ其ノ目的地ニ於テ他ノ貨物ニ先チ陸揚スヘシ天災事變ノ爲航海ノ途中ニ於テ積替若ハ陸揚スルトキ亦同シ

第十二條 船舶運送業者ニ交付スヘキ運送料金ハ命令ノ定ムル所ニ依ル

第十三條 郵便物搭載列車天災事變ノ爲其ノ進行ヲ停止シタルトキ又ハ郵便物搭載船舶航行中天災事變ニ因リ郵便物ヲ陸揚シタルトキハ鐵道運送業者又ハ船舶運送業者ハ郵便取扱員ノ在ラサル場合ニ限り直ニ該郵便物ヲ附近郵便官署ニ送達スヘシ其ノ送達ニ要スル費用ハ之ヲ支給ス

第十四條 第三條ノ要求ニ應セサル者又ハ正當ノ理由ナクシテ第二條若ハ第七條ノ要求ニ應セサル者ハ五十圓以上五百圓以下ノ罰金ニ處ス

第十五條 第六條第一項及第二項ニ違反シタル者又ハ正當ノ理由ナクシテ第八條ノ要求ニ應セサル者ハ二十圓以上二百圓以下ノ罰金ニ處ス第五條ニ違反シタル鐵道運送業者及船舶運送業者亦同シ

第十六條 第十三條ニ依リ送達ヲ爲ササル者ハ十圓以上百圓以下ノ罰金ニ處ス

第十七條 過失ニ依リ運送中ニ係ル郵便物ヲ亡失シ又ハ之ヲ毀損シタルトキハ鐵道運送業者又ハ船舶運送業者ヲ十圓以上百圓以下ノ罰金ニ處ス

第十八條 第九條又ハ第十一條ニ違反シタル者ハ二十圓以下ノ罰金ニ處ス

第十九條 前數條ノ罰則ヲ適用スル場合ニ於テ鐵道運送業者又ハ船舶運送業者法人ナルトキハ其ノ業務執行社員又ハ取締役ヲ處罰ス

第二十條 軌道條例ニ依リ運送營業ヲ爲ス者ニ對シテハ命令ノ定ムル所ニ依リ本法ノ規定ヲ準用スルコトヲ得

第二十一條 鐵道又ハ航路若ハ船舶ニ關シ政府ヨリ補助ヲ受ケ若ハ受ケタル鐵道運送業者又ハ船舶運送業者ニ對シ特別ノ命令アルトキハ其ノ命令

ニ依ル

附則

本法ハ明治三十三年十月一日ヨリ之ヲ施行ス

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(片岡健吉君) 御質疑ガナケレバ議事日程ノ第五、特別委員ノ選舉

第五 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉

○議長(片岡健吉君) 是ハ九名ノ特別委員ヲ議長ガ指名シテ御異議ハアリマセヌガ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(片岡健吉君) 御異議ガナケレバ、其通致シマス——議事日程第六、民法第七十九條及第八十一條ノ規定ニ依ル遺言ノ確認ニ關スル法律案第一讀會、議案ノ朗讀ヲ省略シマス

第六 民法第七十九條及第八十一條ノ規定ニ依ル遺言ノ確認ニ關スル法律案(政府提出貴族院 第一讀會)

第一條 民法第七十九條ノ規定ニ依リ軍人軍屬ノ爲シタル遺言ノ確認ハ左ノ區別ニ從ヒ之ヲ請求スヘシ

一 陸軍ニ在リテハ遺言當時遺言者ノ屬シタル陸軍官衙軍隊ノ軍法會議ノ理事又ハ遺言ヲ爲シタル地ヲ管轄スル陸軍軍法會議ノ理事ニ請求スヘシ若其ノ軍法會議ノ設置ナク若ハ廢セラレタル場合ニ於テハ遺言者ノ住所又ハ相續開始地ヲ管轄スル陸軍軍法會議ノ理事ニ請求スヘシ

二 海軍ニ在リテハ遺言當時遺言者ノ屬シタル海軍官衙軍隊所在地附近ノ軍法會議ノ主理ニ請求スヘシ若遺言ヲ爲シタル者カ艦船乗込員ナル場合ニ於テハ便宜海軍軍法會議ノ主理ニ請求スヘシ

第二條 民法第八十一條本文ノ場合ニ該當スル遺言ノ確認ハ便宜海軍軍法會議ノ主理ニ請求スヘシ

第三條 民事訴訟法裁判所職員ノ除斥人證鑑定ニ關スル規定非訟事件手續法第六條第八條第九條第十條第十二條第十四條第十七條乃至第十九條第三十二條第九條第二項ノ規定及民事訴訟費用法ノ規定ハ本法ノ事件ニ之ヲ準用シ其ノ規定中裁判所及判事ニ屬スル職務ハ理事又ハ主理之ヲ行ヒ書記ニ屬スル職務ハ録事之ヲ行フ但シ上訴ニ關スル規定ハ準用ノ限ニ在ラス

〔ドウカ議長ノ指名ヲ煩シマスト呼フ者アリ〕

○議長(片岡健吉君) 御質疑ガナケレバ、議事日程ノ第七、特別委員ノ選舉

第七 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉

○議長(片岡健吉君) 九名ノ特別委員ヲ議長ガ指名シテ御異議アリマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(片岡健吉君) 御異議ガナケレバ、其通致シマス——議事日程ノ第八、税關假置場法案第一讀會、議案ノ朗讀ヲ省略シマス

第八 税關假置場法案(政府提出貴族院送付) 第一讀會

税關假置場法案

第一條 税關ニ假置場ヲ置キ陸揚シタル外國貨物ヲ假ニ藏置スルコトヲ許ス

假置場ヲ置クヘキ税關ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第二條 大藏大臣ハ假置場ニ藏置スヘキ貨物ノ種類ヲ制限スルコトヲ得

第三條 假置場ニ藏置ノ貨物ハ輸入セサルモノト看做ス

第四條 藏置貨物ハ假置場内ニ於テ改裝、仕分其ノ手入ヲ爲スコトヲ得

第五條 貨物藏置ノ期間ハ滿三箇月以内トス但シ税關長ハ申請ニ依リ必要ト認ムルトキハ之ヲ延長スルコトヲ得

第六條 税關長ハ假置場ノ秩序若ハ取締又ハ貨物ノ整理ニ關シ必要ト認ムルトキハ貨物ノ移出ヲ命シ其ノ他必要ノ處分ヲ爲スコトヲ得

第七條 藏置貨物藏置ノ期間ヲ經過シタルトキ又ハ前條ニ依リ藏置貨物ノ移出ヲ命セラレタル者税關長ノ指定期間内ニ移出セサルトキハ關稅法ニ依リ之ヲ收容スルコトヲ得

第八條 税關官吏ハ假置場ニ出入スル者ノ身體及之ニ屬スル物件ニ就キ搜索ヲ爲スコトヲ得

第九條 政府ハ藏置貨物ノ損害ニ付賠償ノ責ニ任セス

第十條 假置場ニ貨物ヲ移入セムトスル者ハ税關ニ申告スヘシ

第十一條 藏置貨物ハ輸入、積戻、回漕又ハ保税倉庫庫入ノ免許ヲ受ケ又ハ税關長ノ許可ヲ受ケタル後ニ非サレハ之ヲ移出スルコトヲ得ス

〔是モ議長ノ指名ヲ煩シマスト呼フ者アリ〕

○議長(片岡健吉君) 御質疑ガナケレバ、議事日程ノ第九、特別委員ノ選舉

第九 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉

○議長(片岡健吉君) 九名ノ特別委員ヲ議長ガ指名致シテ、御異議アリマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(片岡健吉君) 御異議ガナケレバ、其通致シマス、報告ガアリマスカラ、朗讀サセマス

(書記朗讀)

貴族院ハ本院ノ送付ニ係ル政府提出北海道區町村會議員總代人及沖繩縣區會議員等選舉ノ罰則ニ關スル法律案ヲ可決シタル旨同院ヨリ通牒アリ
議員ヨリ提出セラレタル議案左ノ如シ
高等學校設置ニ關スル建議案

提出者

鈴木 惣兵衛君 堀尾 茂助君 森 東一郎君
早川 龍介君 加藤 六藏君 後藤 文一郎君
齋藤 和太君 市島 謙吉君 佐藤 伊助君
高岡 忠郷君 三輪 潤太郎君 丸山 嵯峨一郎君
高橋 九郎君 岡田 龍松君 磯部 八五郎君
大龍 傳十郎君 佐藤 宗彌君 長坂 重孝君
浦野 錠平君 村瀬 庫次君 西川 宇吉郎君
井上 信八君

特別委員左ノ通り指名セリ

鐵道船舶郵便法案

三輪 傳七君 鹽谷 五十足君 前島 丈之助君
森 東一郎君 堀家 虎造君 阿部 興人君
高川 定次郎君 中島 祐八君 有馬 要介君
民法第七十九條及第八十一條ノ規定ニ依ル遺言ノ確認ニ關スル法律案

內藤 正義君 磯田 和藏君 金井 貢君
關 信之介君 石谷 董九郎君 山田 喜之助君
大矢四郎兵衛君 小田 爲綱君 門馬 尙經君
稅關假置場法案

議長(片岡健吉君) 是ヨリ明日ノ議事日程ヲ報告致シマス

(書記朗讀)

議事日程 第八號 明治三十二年十二月十五日(金曜日)

午後一時開議

- 第一 刑法附則中改正法律案(政府提出貴族院送付) 第一讀會ノ續(委員長報告)
- 第二 民事訴訟費用法中改正法律案(政府提出貴族院送付) 第一讀會ノ續(委員長報告)
- 第三 土地收用法案(政府提出) 第一讀會
- 第四 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉
- 第五 上奏案(尾崎行雄君外七名提出)
- 第六 高利貸取締法案(岡野寛君外二名提出) 第一讀會ノ續(委員長報告)
- 第七 商法中署名スヘキ場合ニ關スル法律案 第一讀會ノ續(委員長報告)

第八 民法施行法中改正法律案(土居平左衛門君外十二名提出) 第一讀會

議長(片岡健吉君) 今日ハ是ニテ散會致シマス
午後五時二十分散會

衆議院議事速記第七號正誤

頁 段 行 誤	正	頁 段 行 誤	正
八 一 下 二〇	法制局長官平	八 一 下 二一	平田東助君
田東助君	長柴田家門君	柴田家門君	